

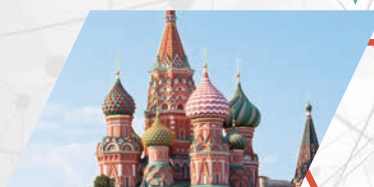
Language Programs 2022

インテンシブ・プログラムと言語学習のすすめ



Kwansei Gakuin
Language Center

英語
フランス語
ドイツ語
中国語
朝鮮語
スペイン語
ロシア語
イタリア語
ポルトガル語
アラビア語
インドネシア語
日本手話



関西学院大学

KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

教務機構 言語教育研究センター



学内者向け情報を掲載中！
言語教育研究センター キャビネット
<https://bit.ly/3Ecm7dB>



Language Program

インテンシブ・プログラムと言語学習のすすめ

教務機構
言語教育研究センター

6つの 特徴



2

コミュニケーション能力
養成のための
フランス語／ドイツ語
インテンシブ・プログラム



5

フランス／ドイツの
大学で学ぶ
1ヶ月の海外研修
プログラム



1

ネイティブ教員のみで
行う多彩な
英語インテンシブ・
プログラム



4

イタリア語、
アラビア語、
日本手話などの
多彩な選択言語



3

疑似留学体験ができる
「英語コミュニケーション
文化」副専攻 (MS)
プログラム



開講プログラム概要

		対象学部	コース／科目
英語インテンシブ	学部必修／選択必修に代わる科目	神・社会・法・経済・商・理・工・生命環境	入門英語コース
		神・文・社会・法・経済・商・人間福祉	インテンシブ・イ
	選択科目	全学部	スキルアップ・コ ンテンツ・コー
フランス語インテンシブ	学部必修／選択必修に代わる科目	文 ^{※1} ・社会・法・経済・商・国際 ^{※2}	初級Ⅰ／Ⅱ
	選択科目	全学部	初級Ⅲ／中級
ドイツ語インテンシブ	学部必修／選択必修に代わる科目	神・文 ^{※3} ・社会・法・経済・商・国際 ^{※2}	初級Ⅰ／Ⅱ
	選択科目	全学部	初級Ⅲ／中級
選択言語	選択科目	全学部	p.23 を参照

※1 文学言語学科フランス文学フランス語学専修の学生は、自由履修科目として履修します。

※2 初級Ⅱは選択科目として履修します。

※3 文学言語学科ドイツ文学ドイツ語学専修の学生は、自由履修科目として履修します。



6

外国語学習を
サポートする
充実した視聴覚室

イングリッシュ・コース
コース
ス

CONTENTS

教員紹介	3
英語インテンシブ・プログラム	
プログラムの特徴／出席・遅刻の制度	5
カリキュラム	6
入門英語コース	8
インテンシブ・イングリッシュ・コース	9
スキルアップ・コース&コンテンツ・コース履修手続	11
スキルアップ・コース	12
コンテンツ・コース	14
「英語コミュニケーション文化」副専攻（MS）プログラム	16
フランス語／ドイツ語インテンシブ・プログラム	
プログラムの特徴／カリキュラム／出席・遅刻の制度	17
履修手続	18
フランス語インテンシブ・プログラム	19
ドイツ語インテンシブ・プログラム	20
フランス語／ドイツ語海外研修	22
選択言語	
履修手続	23
選択言語科目	25
E-learning 教材	26
言語教育研究センター視聴覚室	27
学内実施の英語運用能力試験	28
K.G. ポートフォリオ	29
ダブルチャレンジ	30

Teacher's Introduction

教員紹介



中国語

エン ユ
閻瑜



中国語

オウ キ
王棋



中国語

チョウ ソケン
張素娟



中国語

ヨウ レイリン
楊靈琳



英語

アンドリュー フィルボット
Andrew Philpott



英語

バリイ コンドン
Barry Condon



英語

ブライアン ワイトウィッチ
Brian Wojtowicz



英語

クレイグ ギャンブル
Craig Gamble



英語

リディア エバリー
Lydia Eberly



英語

メアリー ジェイ チャン
Mary J. Chang



英語

マイケル デルヴ
Michael Delve



英語

マイケル パリッシュ
Michael Parrish



英語

ロバート ヒギンズ
Robert Higgins



英語

スチュアート カニンハム
Stuart Cunningham



英語

トーマス ストリンガー
Thomas Stringer



朝鮮語

イ スンヨン
李 順蓮

スペイン語

アルバロ エルナンデス
Álvaro Hernández

英語

キクチ ナギサ
菊池 渚

英語

アンドリュー ナウラン
Andrew Nowlan

英語

ダニエル アンドレジェスキ
Daniel Andrzejewski

英語

エレン レッティグ ミキ
Ellen Rettig-Miki

英語

ジョン サキヤ
John Syquia

英語

ジョナサン ワトキンス
Jonathan Watkins

英語

マイケル ウィルキンス
Michael Wilkins

英語

オアナ マリア クセン
Oana Maria Cusen

英語

オリバー ローズ
Oliver Rose

英語

ライアン デイヴィス
Rian Davis

英語インテンシブ・プログラム



「聞く・話す・読む・書く」

の総合的な英語力アップによって、英語を用いたコミュニケーション力を養い、世界で活躍できる国際人を育成します。



プログラムの特徴

POINT 1

オールイングリッシュの少人数授業

英語を母語とする教員が、プログラム全ての授業を担当します。定員が 12 ～ 25 名の少人数クラスで、グループワークやプレゼンテーションなどの様々なアクティビティを行いながら、英語力を身に付けます。

POINT 2

レベル別の集中授業

自分自身のレベルに合ったクラスで集中的に学ぶことで、英語力の向上を目指します。インテンシブ・イングリッシュ・コースでは、通常は 2 年かけて修得する学部必修（選択必修）の英語科目を 1 年半で修得することができます。

POINT 3

目的別の英語スキルアップ&コンテンツ・ラーニング

幅広いラインナップの科目から、自分の学習目的に合った科目を選択できます。“英語を” 学ぶスキルアップ・コースと“英語で” 学ぶコンテンツ・コースの相乗効果で、さらなる英語力アップを図ります。

重要

出席・遅刻の制度

- ・授業開始に遅れると「遅刻」となり、30 分以上授業に出席しない場合は「欠席」として取り扱う。
- ・遅刻 2 回を欠席 1 回とみなす。
- ・欠席は理由の如何に関わらず「欠席」として取り扱う。
- ・「不合格」となる欠席及び遅刻の回数は右表の通りとする。
- ・不合格となった場合、その後の授業に出席することはできない。
- ・遅刻 1 回につき 1 点、欠席 1 回につき 2 点を、最終成績から減点する。
- ・入門英語コースはこの通りではない。別途履修時に説明する。

	欠席※
週 1 回科目	3
週 2 回科目	4
週 3 回科目	6

※遅刻 2 回を欠席 1 回とみなす。

英語インテンシブ・プログラム カリキュラム

() 内は単位数

	コース名		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
			春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
必修科目	学部必修（選択必修） 英語レギュラー・コース		詳細は p.7 の「学部開講英語科目履修体系」参照							
	入門英語コース 学部混合クラスで基礎的な英語運用能力を養成 対象：神・社会・法・経済・商・理・工・ 生命環境学部生 詳細は p.8		入門英語Ⅰ A（1） 入門英語Ⅰ B（1）	入門英語Ⅰ A（1） 入門英語Ⅰ B（1）	入門英語Ⅱ A（1） 入門英語Ⅱ B（1）	入門英語Ⅱ A（1） 入門英語Ⅱ B（1）				
	インテンシブ・イングリッシュ・コース 学部混合・習熟度別クラスで総合的な英語運用能力を養成 対象：神・文・社会・法・経済・商・ 人間福祉学部生 詳細は p.9	春学期 開始	スプリング・ インテンシブ・ イングリッシュ （2）	インテンシブ・ イングリッシュ （3）	インテンシブ・ イングリッシュ （3）					
		秋学期 開始	学部英語科目（2） または 入門英語Ⅰ A（1） 入門英語Ⅰ B（1）	インテンシブ・ イングリッシュ （3）	インテンシブ・ イングリッシュ （3）					
選択科目	スキルアップ・コース 学習目的別・レベル別クラスで 特定の英語スキルの向上を目指す 詳細は p.12		Skills-based English (Basic/ Speaking & Listening/ Writing/ Reading/ Academic/ Business A・B/ TOEFL/ TOEIC/ IELTS)（1）または（2） 自分に合ったレベルのクラスで必要とするスキルを伸ばす							
			Special English Seminar（1） 夏休みに開講する 5 日間の集中授業							
	コンテンツ・コース 様々なテーマについて“英語で”学び、 実践力を高める 詳細は p.14		Project-based Seminar in English (Study Abroad/ Career English/ Critical Writing/ Area Studies)（2） クラスの仲間と取り組む課題を通して、実践的な英語力と知識を身に付ける							
対象・全学部生			「英語コミュニケーション文化」副専攻（MS）プログラムコア科目 Language and Communication/ Culture and Society/ Academic Writing and Presentation（2） 海外の大学さながらの環境でネイティブ教員から専門知識を学ぶ							

〈参考〉 **学部開講英語科目履修体系** 2022 年度入学生のカリキュラムです。

() 内は単位数

	1 年次		2 年次	
	春	秋	春	秋
神	(リーディング) 甲 (1) (リーディング) 乙 (1)	(ライティング) 甲 (1) (ライティング) 乙 (1)	(コミュニケーション) 甲 (1) (コミュニケーション) 乙 (1)	(総合) 甲 (1) (総合) 乙 (1)
文	A I (1) B I (コミュニケーション) (1)	A II (1) B II (コミュニケーション) (1)	A III (1) B III (1)	A IV (1) B IV (1)
社会	English Communication A (1) English Communication B (1)	English Communication C (1) English Communication D (1)		
法	I A (LR) (1) I A (SW) (1)	I B (LR) (1) I B (SW) (1)	II A (LR) / II B (LR) (1) II A (SW) / II B (SW) (1)	II A (LR) / II B (LR) (1) II A (SW) / II B (SW) (1)
経済	I a (1) I b (1)	I c (1) I d (1)	II a (1) II b (1)	II c (1) II d (1)
商	I (リーディング) (1) I (コミュニケーション) (1)	II (リーディング) (1) II (コミュニケーション) (1)	III (リーディング) (1) III (コミュニケーション) (1)	IV (リーディング) (1) IV (コミュニケーション) (1)
理/工/生命環境/ 建築	リーディング I A (1) ライティング I A (1) コミュニケーション I A (1)	リーディング I B (1) ライティング I B (1) コミュニケーション I B (1)	リーディング II A (1) ライティング II A (1) コミュニケーション II A (1)	リーディング II B (1) ライティング II B (1) コミュニケーション II B (1)
総合政策	English Communication I (4) English Communication III (4)	English Communication II (4) English Communication IV (4)	English Communication III (4) English Communication V (4)	English Communication IV (4) English Communication VI (4)
人間福祉	講読 A (1) 表現 A (1)	講読 B (1) 表現 B (1)	講読 C (1) 表現 C (1)	講読 D (1) 表現 D (1)
教育	A I (1) B I (コミュニケーション) (1) English for Young Learners I (1)	A II (1) B II (コミュニケーション) (1) English for Young Learners II (1)	A III (1) B III (1) 子どもと英語 I (1) Advanced English I (1)	A IV (1) B IV (1) 子どもと英語 II (1) Advanced English II (1)
国際	国際学部事務室に確認してください。			

本学では、下表のとおり、学生 1 人ひとりの英語運用能力に対応した英語教育を提供しています。

	CEFR ※1	GTEC(LR) ※2	TOEIC® L&R TEST ※2	TOEFL ITP® TEST ※2
【全学開講】 スプリング・インテンシブ・イングリッシュ インテンシブ・イングリッシュ	C2	460～	—	—
	C1	400～	945～	590～
	B2	330～	785～	533～
【学部開講】 英語科目	B1	270～	550～	443～
【全学開講】 入門英語	A2	190～	225～	—
	A1	～189	120～	—

※1 ヨーロッパ言語共通参照枠 (Common European Framework of Reference for Languages: Learning, Teaching, Assessment, 「セファール」) は、ヨーロッパ評議会が 2001 年に公表した言語学習・教授・評価のための指標です。現在は、ヨーロッパを中心として世界で言語教育や検定試験のレベル分け、それぞれのレベルの学習内容を決める基準として用いられています。CEFR (2001) では言語学習のレベルは、主に A1, A2, B1, B2, C1, C2 の 6 つのレベルに分けられていて、初めて学習するものは A レベルで「基礎段階の言語使用者」、B は「自立した言語使用者」、C は「熟達した言語使用者」と説明されています。

※2 GTEC、TOEIC® L&R TEST、TOEFL ITP® TEST の換算の点数は、あくまでも目安です。

<出典> GTEC: ベネッセコーポレーション TOEIC® L&R TEST: IIBC TOEFL ITP® TEST: ETS

入門英語コース

科目名	入門英語Ⅰ A／Ⅰ B／Ⅱ A／Ⅱ B 学部必修(選択必修)に代わる科目			
対象	神・社会・法・経済・商・理・工・生命環境学部生	単位数	合計 8 単位	定員 25 名

履修条件	入学前受検の英語クラス編成テスト（GTEC）の結果により、入学時に履修を指定。			
履修上の注意	・「入門英語Ⅰ A」2 単位を修得することを「入門英語Ⅱ A」の、「入門英語Ⅰ B」2 単位を修得することを「入門英語Ⅱ B」の先修条件とする。 ・学部レギュラー・コースへの変更を希望する場合、所属学部で定める手続きに従うこと。 ・社会学部の学生は、原則 1 年次春・秋学期に「入門英語Ⅰ A／Ⅰ B」（合計 4 単位）を修得することでコース履修が終了する。			

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時間	開講キャンパス
入門英語Ⅰ A	春	1	Daniel Andrzejewski	水 5	NUC
		2	Michael Parrish	水 4	NUC
		3	Lydia Eberly	木 4	NUC
		4	Mary Chang	月 2	NUC
		5	Michael Delve	月 2	NUC
		6	Oana Cusen	火 3	NUC
		7	Andrew Philpott	水 5	NUC
		8	Thomas Stringer	水 5	NUC
		9	Ellen Rettig-Miki	金 2	NUC
		10	未定	木 5	KSC
	秋	11	Michael Wilkins	水 5	NUC
		12	Craig Gamble	水 4	NUC
		13	Daniel Andrzejewski	木 4	NUC
		14	Michael Wilkins	月 2	NUC
		15	Thomas Stringer	月 2	NUC
		16	Craig Gamble	火 3	NUC
		17	Craig Gamble	水 5	NUC
		18	Thomas Stringer	水 5	NUC
		19	Oliver Rose	金 2	NUC
		20	未定	木 1	KSC
入門英語Ⅰ B	春	1	未定	月 2	NUC
		2	菊池 渚	月 4	NUC
		3	菊池 渚	火 4	NUC
		4	菊池 渚	水 2	NUC
		5	未定	木 2	NUC
		6	未定	木 3	NUC
		7	未定	金 3	NUC
		8	未定	金 4	NUC
		9	菊池 渚	火 3	NUC
		10	菊池 渚	水 5	KSC
	秋	11	未定	月 2	NUC
		12	菊池 渚	月 4	NUC
		13	菊池 渚	火 4	NUC
		14	菊池 渚	水 2	NUC
		15	未定	木 2	NUC
		16	未定	木 3	NUC
		17	未定	金 3	NUC
		18	未定	金 4	NUC
		19	菊池 渚	火 3	NUC
		20	菊池 渚	水 5	KSC

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時間	開講キャンパス
入門英語Ⅱ A	春	1	Craig Gamble	金 5	NUC
		2	Michael Wilkins	月 4	NUC
		3	未定	火 3	NUC
		4	Oliver Rose	火 5	NUC
		5	Rian Davis	火 3	NUC
		6	John Syquia	水 4	NUC
		7	Robert Higgins	金 4	NUC
		8	Brian Wojtowicz	金 3	NUC
		9	Michael Wilkins	水 2	NUC
		10	Stuart Cunningham	水 2	KSC
	秋	11	Rian Davis	金 5	NUC
		12	Michael Delve	月 4	NUC
		13	Andrew Philpott	火 3	NUC
		14	Michael Delve	火 5	NUC
		15	未定	火 3	NUC
		16	Mary Chang	水 4	NUC
		17	Michael Parrish	金 4	NUC
		18	Brian Wojtowicz	金 3	NUC
		19	Lydia Eberly	水 2	NUC
		20	Stuart Cunningham	木 1	KSC
入門英語Ⅱ B	春	1	菊池 渚	月 3	NUC
		2	未定	金 2	NUC
		3	菊池 渚	木 5	NUC
		4	菊池 渚	木 1	NUC
		5	菊池 渚	木 3	NUC
		6	未定	月 3	NUC
		7	未定	水 2	NUC
		8	菊池 渚	水 1	NUC
		9	未定	月 1	NUC
		10	未定	水 5	KSC
	秋	11	菊池 渚	月 3	NUC
		12	未定	金 2	NUC
		13	菊池 渚	木 5	NUC
		14	菊池 渚	木 1	NUC
		15	菊池 渚	木 3	NUC
		16	未定	月 3	NUC
		17	未定	水 2	NUC
		18	菊池 渚	水 1	NUC
		19	未定	月 1	NUC
		20	未定	水 5	KSC

NUC：西宮上ヶ原キャンパス KSC：神戸三田キャンパス

※開講クラス、担当者、曜日・時間は2022年2月現在のものです。最新の情報は、必ずkwicで確認してください。

インテンシブ・イングリッシュ・コース

1 年次秋学期開始申込・選考スケジュール

説明会

インテンシブ・イングリッシュ・コースの概要や申込方法について説明します。また、担当教員や授業内容についても紹介します。

日程

5月16日(月) 12:45 ~ 13:15
6月1日(水) 12:45 ~ 13:15
6月10日(金) 12:45 ~ 13:15

※説明会に参加できなくても、コースへの申し込みは可能です。

※場所は kwic で確認してください。

Web 申込

右記 QR コードからアクセスし、申込フォームに必要事項を入力の上送信してください。kwic にも申請フォームを掲載しています。

申込期間：6月6日(月) ~ 17日(金) 16:00

※スプリング・インテンシブ・イングリッシュ履修者は Web 申込は不要です。STEP2 のみ行ってください。

※1 年次秋学期開始の場合、インテンシブ・イングリッシュ・コースとフランス語またはドイツ語インテンシブ・コースの併願は可能。ただし、両方のコースに合格した場合、どちらか一方を選択する。



STEP 1

STEP 2

選考

A、B、C のうちいずれかのスコアで選考

A. 全学 TOEIC® (大学が実施する TOEIC® L&R IP テスト) ※総合政策学部を除く 1 年生受験必須

試験日：5月28日(土)

詳細は p.27。受験申込、受験後の点数表提出不要。

B. 大学が実施する TOEFL ITP® TEST

試験日：4月16日(土) 申込期間：2月28日(月) ~ 4月8日(金)

試験日：6月4日(土) 申込期間：4月11日(月) ~ 5月27日(金) (無料・有料実施含む)

詳細は p.27。受験後の点数表提出不要。

C. その他の TOEFL® TEST または TOEIC® L&R TEST

A、B、以外で受験した TOEFL iBT® TEST、TOEFL ITP® TEST、TOEIC® L&R TEST (IP テスト含む) のスコアを有する場合は、点数表原本とコピーを教務機構言語教育研究センターに提出。(原本は確認後、その場で返却。)

※ TOEFL iBT® TEST、TOEFL ITP® TEST は受験日から 2 年以内のスコアのみ有効。

提出期間：6月6日(月) ~ 17日(金) 16:50

選考結果発表

7月8日(金) 9:00 kwic にて発表

インテンシブ・イングリッシュ・
コース
履修者の声



商学部 4 年
藤 誠紀さん

私がインテンシブ・イングリッシュを履修した理由は交換留学に備えて、総合的な英語力向上が必要だと考えたからです。私は入学当初から海外留学を志していたのですが、当時の英語力は低く、4 技能全ての能力向上が必要でした。インテンシブ・イングリッシュでは総合的に英語を学ぶことができ、特にスピーキングの機会が学部開講の英語の授業より頻度が多いと感じました。これにより自身の留学を見据えた英語学習ができると考え、本プログラムを受講しました。

私のクラスでは 1 年間の授業の内、前半はリーディングやライティング力向上を中心に進行し、後半はプレゼンテーションを通したスピーキングスキル獲得を目指して進行しました。前半では自然科学に関する教科書に基づいたリーディングやそこから得られた知見を基にライティング作成に励みました。ライティング作成時にはペア・グループワークのディスカッションの中で自身の意見を発表し、そこから得られたフィードバックを活かし、修正を加える必要がありました。従って学生同士や先生と交流する機会が豊富にあり、ライティングスキルのみならず、自身のリスニング・スピーキングスキルも向上したと実感しています。後半では少人数のグループで 90 分間のプレゼンテーションを作成し、オンライン上で発表するという内容のものでした。

加えて、私は交換留学に参加するために IELTS や TOEFL の勉強を並行して行っていました。インテンシブ・イングリッシュは、自身の学習した英語力のアウトプット、そして高いレベルの知識のインプットの機会として最適です。私は本授業の受講により IELTS や TOEFL のスコアを飛躍的に向上させることができ、非常に実りある一年になりました。

インテンシブ・イングリッシュの魅力は受講者一人一人の英語力に合わせて細かくクラス分けがされるため、着実に英語力向上ができる点です。私は留学に向けた学習を通して英語力向上に繋がれたため、履修して良かったと感じています。今後は本講義を通して得られた行動力や英語力をもとに、様々な国際プログラムに積極的に取り組み、英語力に磨きをかけていきたいと考えています。

英語に自信がある人もそうでない人も是非インテンシブ・イングリッシュを履修してみてください！

※インタビュー内容は取材当時のものです。

科目名	スプリング・インテンシブ・イングリッシュ／ インテンシブ・イングリッシュ 学部必修（選択必修）に代わる科目			
	1 年次春学期または秋学期より集中的な英語の授業を履修します。自分のレベルに合ったクラスで、他学部の仲間と共に、「聞く・話す・読む・書く」の 4 技能のレベルアップを目指します。			
	【1 年次春学期開始】 1 年次春学期に「スプリング・インテンシブ・イングリッシュ」（週 2 回・2 単位）を、1 年次秋学期・2 年生春学期に「インテンシブ・イングリッシュ」（週 3 回・3 単位）を履修			
	【1 年次秋学期開始】 1 年次秋学期・2 年次春学期に「インテンシブ・イングリッシュ」（週 3 回・3 単位）を履修			

対象	神・文・社会・法・経済・商・ 人間福祉学部の 1 年生 (2022 年度入学生)	単位数	【1 年次春学期開始】合計 8 単位 【1 年次秋学期開始】合計 6 単位	定員	1 クラス 25 名
----	--	-----	--	----	---------------

履修条件	【1 年次春学期開始】 入学前に申し込み、および英語クラス編成テスト（GTEC）による選考に合格。 【1 年次秋学期開始】 1 年次春学期に「入門英語 I A / I B」または所属学部必修（選択必修）言語教育科目（英語）2 単位を修得、および言語教育研究センターが実施する選考に合格。
------	--

履修上の注意	・スプリング・インテンシブ・イングリッシュの単位を修得できなかった場合は、1 年次秋学期より所属学部のレギュラー・コースに戻り、未修得の単位を修得する。 ・人間福祉学部生で第二言語として「英語コミュニケーション」を選択している学生は、インテンシブ・イングリッシュ・コースに申し込むことはできない。 ・インテンシブ・イングリッシュ・コース履修者はフランス語／ドイツ語インテンシブ初級 I / 初級 II を履修できない。 ・社会学部生および所属学部必修（選択必修）の英語科目が単位認定された学生も、インテンシブ・イングリッシュ・コースを選択した場合は、合計 8 単位または 6 単位を修得する必要がある。 ・インテンシブ・イングリッシュ・コース履修者は、原則として途中でコースを放棄し、所属学部のレギュラー・コースに戻ることはできない。
--------	---

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限
スプリング・インテンシブ・イングリッシュ	春	1	Jonathan Watkins	月 2・水 5
		2	Robert Higgins	月 2・水 5
		3	Michael Parrish	月 2・水 5
		4	John Syquia	月 2・水 5
		5	Michael Wilkins	月 2・水 5

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限
インテンシブ・イングリッシュ	春	31	未定	月 2・水 4・金 2
		32	未定	月 1・水 5・金 1
		33	Rian Davis	月 2・水 4・金 3
		34	Rian Davis	火 2・水 2・金 4
		35	Oana Cusen	月 3・火 5・金 5
		36	Jonathan Watkins	月 3・水 4・金 2
		37	Lydia Eberly	月 1・水 5・金 1
		38	Lydia Eberly	月 2・水 4・金 2
		39	Robert Higgins	月 3・水 2・金 5
		40	Michael Parrish	月 3・火 5・金 5
		41	Andrew Philpott	月 2・水 4・金 3
		42	Andrew Philpott	月 3・水 2・金 5
		43	Brian Wojtowicz	月 2・水 4・金 2
		44	Brian Wojtowicz	月 1・水 5・金 1
		45	Mary Chang	月 3・水 4・金 2
		46	John Syquia	月 3・水 2・金 5
		47	Thomas Stringer	月 2・水 4・金 3
		48	Thomas Stringer	月 3・水 2・金 5
		49	Daniel Andrzejewski	月 2・水 4・金 3
		50	Barry Condon	月 2・水 4・金 2
		51	Barry Condon	月 3・水 2・金 5
		52	Ellen Rettig-Miki	月 2・水 4・金 3
		53	Daniel Andrzejewski	月 3・水 2・金 5
		54	Ellen Rettig-Miki	月 1・水 5・金 1
		55	未定	月 2・水 4・金 2
		56	未定	月 3・火 5・金 5
		57	Michael Wilkins	月 3・水 4・金 2
		58	Oliver Rose	火 2・水 2・金 4
		59	Oliver Rose	月 2・水 4・金 2
		60	Michael Delve	月 3・火 5・金 5

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限
インテンシブ・イングリッシュ	秋	1	Ellen Rettig-Miki	月 1・水 5・金 4
		2	Ellen Rettig-Miki	月 2・水 4・木 4
		3	Jonathan Watkins	月 4・水 5・金 4
		4	Jonathan Watkins	月 2・水 4・金 3
		5	Oana Cusen	月 3・水 4・金 3
		6	Robert Higgins	月 2・水 5・金 4
		7	Lydia Eberly	月 2・水 4・木 4
		8	Lydia Eberly	月 1・水 5・金 4
		9	Thomas Stringer	月 1・木 3・金 5
		10	Michael Wilkins	月 3・水 4・金 3
		11	Rian Davis	月 4・水 5・金 4
		12	Rian Davis	月 2・水 4・金 3
		13	Brian Wojtowicz	月 1・水 5・金 4
		14	Brian Wojtowicz	月 2・水 4・木 4
		15	Mary Chang	月 2・水 5・金 4
		16	John Syquia	月 1・木 3・金 5
		17	Oliver Rose	月 4・水 5・金 4
		18	Oliver Rose	月 2・水 4・金 3
		19	Daniel Andrzejewski	月 4・水 5・金 4
		20	Michael Delve	月 1・水 5・金 4
		21	Michael Delve	月 2・水 4・金 3
		22	Barry Condon	月 4・水 5・金 4
		23	Daniel Andrzejewski	月 1・木 3・金 5
		24	Barry Condon	月 2・水 4・木 4
		25	未定	月 1・水 5・金 4
		26	未定	月 3・水 4・金 3
		27	未定	月 2・水 5・金 4
		28	Andrew Philpott	月 2・水 4・金 3
		29	Andrew Philpott	月 1・水 5・金 4
		30	Michael Parrish	月 3・水 4・金 3

※開講クラス、担当者、曜日・時限は2022年2月現在のものです。最新の情報は、必ず kwic で確認してください。

スキルアップ・コース&コンテンツ・コース

履修手続

スキルアップ・コース、コンテンツ・コースの科目（p.12～15）を履修するには以下の手続きが必要です。

STEP 1

各科目の履修に必要なレベル認定を申請する

※一部レベル認定不要の科目もあります。

レベル	TOEFL ITP® TEST / TOEFL iBT® TEST	TOEIC® L&R TEST (IP テスト含む)	IELTS (Academic Module)	実用英語技能検定
L1 (Level1)	450 点以上 / 45 点以上	500 点以上	4.5 以上	—
L2 (Level2)	475 点以上 / 53 点以上	550 点以上	—	2 級以上
L3 (Level3)	500 点以上 / 61 点以上	600 点以上	5.0 以上	—
L4 (Level4)	550 点以上 / 79 点以上	750 点以上	6.0 以上	準 1 級以上

※受験年から 2 年以内のスコア。但し、TOEIC® L&R TEST、実用英語技能検定は有効期限なし。

申請方法

右記 QR コードからアクセスし、関学システム ID・PASS にてログインのうえ、申請フォームより申請してください。

kwic にも申請フォームを掲載しています。

申請時には、上記いずれかの点数表原本の画像が必要



申請期限

春学期履修用締切：4 月 4 日（月）16：50

秋学期履修用締切：9 月 9 日（金）16：00

※随時申請を受け付けていますが、履修する学期によって提出期限が定められています。

提出不要の 点数表

以下の点数は自動的にレベル認定されるため、提出は不要です。

① 2019 年度以降に学内で実施される TOEIC® L&R IP テスト（オンライン含む）、TOEFL ITP® TEST（p.27 参照）

② 2016 年度以降に 1、3 年生を対象に 5、6 月に実施された全学 TOEIC®（オンライン含む）

③ 生協で実施された無料 TOEFL ITP® TEST

④ 2017 年 11 月以降に生協で実施された有料 TOEFL ITP® TEST

⑤ インテンシブ・イングリッシュ・コース申込時のスコア

⑥ 「英語コミュニケーション文化」副専攻プログラム出願時のスコア／級

⑦ 2017 年 1 月以降に国際教育・協力センター開講科目履修のために提出したスコア／級

注意

・一度認定されたレベルは卒業まで有効です。

・認定されたレベルが不明な場合は、学生証を持参の上、言語教育研究センターで確認してください。

・提出された点数表は、国際教育・協力センターと共有し、国際教育・協力センター開講科目の履修要件認定にも使用されます。

・国際学部英語話者（EblS）は点数表の提出は不要です。

STEP 2

kwic での履修科目の申込

下記期間に kwic で申し込みを行ってください。クラス定員を超える申込者があった場合は抽選を実施します。申込期間内であれば、kwic から取消・変更が可能です。なお、定員に満たないクラス等で追加申込を受け付ける場合があります。適宜 kwic を確認してください。

※当選科目の履修中止はできません。シラバス等で授業内容を十分確認の上、申し込んでください。

	春学期開講	秋学期開講
Web 申込期間	4 月 1 日（金）9：00～4 日（月）16：50	9 月 8 日（木）9：00～9 日（金）16：00
Web 申込結果発表	4 月 7 日（木）9：00	9 月 14 日（水）9：00
追加申込期間	4 月 7 日（木）9：00～11：30	9 月 14 日（水）9：00～11：30
追加申込結果発表	4 月 7 日（木）17：00	9 月 15 日（木）9：00

スキルアップ・コース

科目名	Skills-based English 申込科目
	学習目的・レベルに応じて、特定の英語スキルの向上を目指します。学部必修（選択必修）の英語科目にプラスして履修することで、効果的に英語力を磨きます。
Basic	初級者を対象に英語のコミュニケーション力を基礎から磨きます。
Speaking & Listening	日常生活、ニュースや大学での講義など、様々な場面で活きるリスニング力を身につけながら、会話力・発信力を養います。
Writing	英文ライティングを基礎から学び、日記、ノートテイキングからレポートまで、幅広いテーマにおけるライティング力の向上を図ります。
Reading	多様なリーディング教材に触れ、多読、速読、精読を通してリーディングスキルを身につけます。
Academic	論文や大学の講義などのアカデミックなテーマを中心に、専門性が高い分野に対応できる英語 4 技能を磨きます。
Business A・B	国際ビジネスの現場で求められる英語スキルを学びます。 A：プレゼンテーションや会議など口頭でのスキル B：メールや書類作成など文書に関するスキル
TOEFL	留学先で求められるアカデミックな英語に対応できる力を養います。 目標スコア レベルなし：450 点以上 L2：550 点以上
TOEIC	問題練習にとどまらず、グループワークなどを通して実践的な英語力を身につけます。 目標スコア レベルなし：550 点以上 L2：700 点以上
IELTS	留学先で求められるスコア獲得を目指します。
対象	全学部生 単位数 2 単位（週 2 回）または 1 単位（週 1 回） 定員 25 名 （Writing のみ 20 名）
履修条件	科目名の最後に L ○と付いている科目は、当該レベルの認定を受けていること。付いていない科目はレベル認定不要。
履修上の注意	この科目を学部必修（選択必修）の言語教育科目（英語）に振り替えることはできない。

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限	開講キャンパス
(Basic)	春	1	Daniel Andrzejewski	金 4	NUC
		2	Michael Parrish	月 4	NUC
		3	Michael Delve	火 2	NUC
		4	Craig Gamble	水 1	NUC
		5	未定	木 2	KSC
	秋	6	Daniel Andrzejewski	水 4	NUC
		7	Daniel Andrzejewski	木 1	NUC
		8	Michael Parrish	月 2	NUC
		9	Michael Parrish	金 5	NUC
		10	Stuart Cunningham	水 4	KSC
(Speaking & Listening)	春	1	Rian Davis	月 4・水 3	NUC
	春	2	Michael Delve	火 3・金 3	NUC
	秋	3	Rian Davis	月 3・水 3	NUC
	秋	4	John Syquia	月 4・水 2	NUC
(Speaking & Listening) L1	春	1	Craig Gamble	月 1・金 1	NUC
	秋	2	Thomas Stringer	水 4・金 2	NUC
	秋	3	Thomas Stringer	木 2・金 3	NUC
(Speaking & Listening) L2	春	1	Barry Condon	月 4・金 3	NUC
	秋	2	Barry Condon	水 3・金 5	NUC
	秋	3	Mary Chang	月 4・金 3	NUC
(Speaking & Listening) L3	春	1	Jonathan Watkins	月 1・金 1	NUC
	秋	2	Jonathan Watkins	月 3・金 2	NUC
	秋	3	Craig Gamble	火 4・木 1	NUC
	秋	4	Stuart Cunningham	火 2・木 2	KSC
(Writing) L1	春	1	未定	水 3	NUC
	秋	2	未定	金 1	NUC
(Writing) L3	春	1	未定	月 1	NUC
	秋	2	未定	月 4	NUC
(Reading) L1	春	1	Craig Gamble	月 4	NUC
	秋	2	Craig Gamble	水 2	NUC
(Reading) L3	春	1	未定	金 3	NUC
	秋	2	未定	火 4	NUC
(Academic) L3	春	1	John Syquia	火 2・金 2	NUC
	秋	2	Stuart Cunningham	火 2・木 2	KSC
	秋	3	John Syquia	水 3・金 3	NUC
(Academic) L4	春	1	John Syquia	火 3・金 3	NUC
	秋	2	Robert Higgins	月 3・金 5	NUC

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限	開講キャンパス
(Business A) L2	春	1	Oana Cusen	月 2	NUC
	秋	2	未定	木 3	KSC
(Business B) L2	春	3	Ellen Rettig-Miki	木 1	NUC
	秋	1	Michael Parrish	金 4	NUC
(TOEFL)	春	2	Ellen Rettig-Miki	木 2	NUC
	秋	3	未定	木 2	KSC
	春	1	Oana Cusen	金 4	NUC
	秋	2	Stuart Cunningham	火 3	KSC
	秋	3	Oana Cusen	水 3	NUC
	秋	4	未定	金 1	NUC
(TOEFL) L2	春	5	未定	水 4	NUC
	秋	6	Stuart Cunningham	火 3	KSC
	春	1	Mary Chang	火 2	NUC
	秋	2	Mary Chang	水 2	NUC
	秋	3	Mary Chang	火 2	NUC
	秋	4	Mary Chang	水 2	NUC
(TOEIC)	春	1	Mary Chang	火 1	NUC
	秋	2	Mary Chang	水 1	NUC
	春	3	Mary Chang	金 1	NUC
	秋	4	未定	水 2	NUC
	春	5	Stuart Cunningham	水 4	KSC
	秋	6	Mary Chang	火 1	NUC
	秋	7	Mary Chang	金 1	NUC
	秋	8	未定	月 1	NUC
	秋	9	未定	月 3	NUC
	秋	10	Stuart Cunningham	水 2	KSC
(TOEIC) L2	春	1	Michael Wilkins	金 4	NUC
	秋	2	Barry Condon	水 1	NUC
	秋	3	Ellen Rettig-Miki	金 2	NUC
	秋	4	Barry Condon	木 3	NUC
	秋	5	Michael Wilkins	木 4	NUC
(IELTS)	春	1	Thomas Stringer	火 3	NUC
	秋	2	Thomas Stringer	金 2	NUC
	秋	3	Stuart Cunningham	火 4	KSC
	秋	4	Oana Cusen	水 2	NUC
	秋	5	Oana Cusen	金 4	NUC

NUC：西宮上ヶ原キャンパス KSC：神戸三田キャンパス

※開講クラス、担当者、曜日・時限は2022年2月現在のものです。最新の情報は、必ずkwicで確認してください。

スキルアップ・コース

科目名	Special English Seminar 申込科目				授業を 5 日間連続で履修する集中講義です。短期間での集中的な学習により、「聞く・話す・読む・書く」の 4 技能を効率良く身に着けることができます。
対象	全学部生	単位数	1 単位（春集中：5 日間）	定員	75 名
履修条件	なし				
履修上の注意	・ 5 日間の授業に全て出席することが履修の前提となる。3 コマ欠席すると不合格となる。 ・ 気象警報等の発令による授業中止対応として予備日を設定しているため、注意すること。 ・ この科目を学部必修（選択必修）の言語教育科目（英語）に振り替えることはできない。 ・ 2022 年度春学期末に卒業見込みの者は履修できない。				

学期	科目名	クラス	担当者	曜日・時限	開講キャンパス
春集中	Special English Seminar	1	Andrew Philpott Lydia Eberly Daniel Andrzejewski	2022年9月5日（月）～9日（金） ※予備日9月10日（土） 1限（9:00～10:40） 2限（10:50～12:30） 3限（13:10～14:50）	NUC

※最終日は、2限で終了します。

※開講クラス、担当者、曜日・時限は2022年2月現在のものです。最新の情報は、必ず kwic で確認してください。

授業紹介 Q & A

英語が好きな学生、留学希望・経験者にお勧め！ コンテンツ・コース

「英語コミュニケーション文化」副専攻（MS）プログラム履修中の合田さんに伺いました。



人間福祉学部4年
合田 倭子さん

Q「英語コミュニケーション文化」副専攻（MS）プログラムに登録した理由は？

A 交換留学が決まり、留学するにあたって自分には何が足りないだろうと考えた時に、現地学生と対等に英語で会話し、現地の授業を十分に理解できる英語力が無いと感じました。有意義な留学生活にするために、英語力の向上や英語でのディスカッションやプレゼンテーションに慣れる必要があると思い、「英語コミュニケーション文化」副専攻（MS）プログラムに登録しました。

Q「英語コミュニケーション文化」副専攻（MS）科目の魅力は？

A MS科目の魅力は、英語を学ぶのではなく、英語で学べることです。そのため、英語力が伸びるのはもちろん、文化や社会問題といった様々な分野も学ぶことができます。また、それらの分野に関して英語でディスカッションやプレゼンテーションをするので、学術的な英語の使い方を身に付けることができます。さらに、授業のディスカッションでクラスメイトと沢山話せるので、オンラインでも仲良くなれますよ！

Q「英語コミュニケーション文化」副専攻（MS）科目の難しさは？

A MS科目の難しさは、課題が多く、授業外の学習が多いことです。授業の予習として資料を読んだり、調べものをしたり、プレゼンテーションの準備をしたり、と時間がかかるものが多いと感じます。また、それらが全て英語で読んだり、英語で書いたりしなければならないので難しく、うまくいかないこともあります。しかし、それを乗り越えると大きな達成感を感じることができ、自分に自信が持てるようになりました。沢山課題があるからこそ、その分練習できるので、効率よく英語力を上げることができると思います。

Q「英語コミュニケーション文化」副専攻（MS）科目を通して学んだこととそれをどう活かしていきたいか？

A MS科目を通して、英語でのディスカッションやプレゼンテーション、ライティングなど学術的な場面での英語力を身に付けることができました。また、以前までは、自分の英語に自信がなかったため授業で発言することをためらっていたのですが、英語力が向上したことで自分に自信が持てるようになり、自分の意見を主張することができるようになりました。そのため、留学では、現地学生に負けないぐらい積極的に発言し、授業に参加することで有意義な留学生活にしていこうと思います。

※インタビュー内容は取材当時のものです。

コンテンツ・コース

英語で行う「調査・分析・議論・発表・読解・論文作成」は、様々な場面で応用できるコミュニケーション力を育成します。



科目名

Project-based Seminar in English

申込科目

英語で行われる学生参加型クラス。各分野に関する知識を身に付けながら、グループワークを通してクラス目標の達成を目指します。また、様々な学部から集まる仲間と協働して課題に取り組むことで、“実践的な”コミュニケーション力を鍛えます。

Study Abroad	必要レベル	L1	留学に関する様々な課題を認識し、留学先の国および日本の諸事情（文化、社会等）について一つにまとめた冊子および留学に向けたロードマップを協働して作成することで、計画的な留学準備を行います。留学生活において必須となる論理的思考力、ディスカッション力も鍛えます。
	定員	20名	
Area Studies	必要レベル	L1	国内・国外における各地域の特色ある文化や活動等から、自分達にとって社会的に関わりのあるテーマを設定し、その研究を通して自分達のコミュニティへの理解を深め、実践的なコミュニケーション力を鍛えます。
	定員	12名	
Career English	必要レベル	L3	自らのキャリアプランを作成する過程を通して、実践的な英語力、知識、技術およびディスカッション力、総合プレゼンテーション力、スピーチ力といった、グローバル社会で多様な人材と協働するために必要なコミュニケーション力を養成します。
	定員	15名	
Critical Writing	必要レベル	L3	学術的英文作成を学び、論文を作成する過程で論理的ライティング力、批判的読解力・思考力を鍛えます。また、他者の論文に対する議論を通して、批判的に評価する力や、英文作成が求められる様々な場面でも応用できるライティングスキルと知識を育成します。
	定員	12名	

対象

全学部生

単位数

2単位（週1回）

履修条件

各科目で必要とされるレベル認定を受けていること。

履修上の注意

この科目を学部必修（選択必修）の言語教育科目（英語）に振り替えることはできない。

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限	開講キャンパス
(Study Abroad)	春	1	Brian Wojtowicz	水 2	NUC
		2	Mary Chang	火 4	NUC
	秋	3	Brian Wojtowicz	木 3	NUC
		4	Lydia Eberly	金 2	NUC
		5	Michael Parrish	月 1	NUC
(Career English)	春	1	Oliver Rose	火 4	NUC
		2	Ellen Rettig-Miki	水 2	NUC
	秋	3	Oliver Rose	月 3	NUC
		4	Michael Parrish	水 5	NUC

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限	開講キャンパス
(Critical Writing)	春	1	Craig Gamble	火 3	NUC
	秋	2	Craig Gamble	木 2	NUC
(Area Studies)	春	1	Robert Higgins	金 3	NUC
		2	Oana Cusen	月 4	NUC
		3	Lydia Eberly	木 2	NUC
	秋	4	Robert Higgins	月 4	NUC
		5	Robert Higgins	金 3	NUC
		6	Oana Cusen	月 4	NUC

※開講クラス、担当者、曜日・時限は2022年2月現在のものです。最新の情報は、必ず kwic で確認してください。

コンテンツ・コース

科目名

Language and Communication / Culture and Society / Academic Writing and Presentation

申込科目 重複履修可

これらの科目は、言葉によるコミュニケーションを支える「言語・心理的側面」と「社会・文化的側面」の二つの枠組みを中心とした専門科目を体系的に学ぶ、「英語コミュニケーション文化」副専攻（MS）プログラムのコアとなる科目です。
“英語を”ではなく“英語で”学び、あたかも海外の大学の授業を体験できるような科目です。

Language and Communication

言語とコミュニケーション、応用言語学、言語と認知など、主に言語・心理分野に関連した内容を学びます。
副題例：“Introduction to Sociolinguistics”，“English Pronunciation and Communication”

Culture and Society

言語と社会、異文化理解、英語圏の文化など、主に社会・文化分野に関連した内容を学びます。
副題例：“Irish Culture”，“Social and Environmental Issues”，“Learning about Film and TV”

Academic Writing and Presentation

担当教員が決めたトピックに従って、プレゼンテーションを行い、5枚以上の英文レポートを作成することで、学術英語や英語での論文の書き方を学びます。

対象

全学部生

単位数

2単位（週1回）

定員

12名

履修条件

L3のレベル認定を受けていること。

履修上の注意

- ・この科目を学部必修（選択必修）の言語教育科目（英語）に振り替えることはできない。
- ・Language and Communication および Culture and Society の各クラスの副題は、シラバスで確認すること。
- ・同一担当者の同一副題の科目は重複履修できない。

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限	開講キャンパス
Language and Communication	春	1	Lydia Eberly	月 4	NUC
		2	Robert Higgins	水 3	NUC
		3	Daniel Andrzejewski	月 1	NUC
		4	Ellen Rettig-Miki	木 3	NUC
		5	Barry Condon	水 3	NUC
		6	Thomas Stringer	火 2	NUC
		7	Stuart Cunningham	木 4	KSC
	秋	8	Robert Higgins	水 3	NUC
		9	Lydia Eberly	木 2	NUC
		10	Daniel Andrzejewski	月 3	NUC
		11	Michael Delve	火 4	NUC
		12	Barry Condon	月 3	NUC
		13	Michael Wilkins	金 1	NUC
		14	John Syquia	木 2	NUC
		15	John Syquia	月 2	NUC
		16	Stuart Cunningham	水 3	KSC

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限	開講キャンパス
Culture and Society	春	1	Andrew Nowlan	火 2	NUC
		2	Jonathan Watkins	金 3	NUC
		3	Rian Davis	火 5	NUC
		4	Ellen Rettig-Miki	木 4	NUC
		5	Michael Delve	水 2	NUC
		6	Craig Gamble	金 3	NUC
		7	Craig Gamble	水 2	NUC
		8	Stuart Cunningham	水 3	KSC
	秋	9	Andrew Nowlan	火 2	NUC
		10	Rian Davis	火 3	NUC
		11	Craig Gamble	木 3	NUC
		12	Michael Delve	水 3	NUC
		13	Thomas Stringer	水 2	NUC
		14	Oana Cusen	月 2	NUC
		15	John Syquia	金 2	NUC
		16	Lydia Eberly	木 5	NUC
		17	Andrew Philpott	火 2	NUC
		18	Stuart Cunningham	火 4	KSC
Academic Writing and Presentation	春	1	Michael Delve	水 3	NUC
		2	Michael Delve	金 2	NUC
		3	Oana Cusen	火 2	NUC
	秋	4	Ellen Rettig-Miki	月 4	NUC
		5	未定	金 3	NUC
		6	Michael Wilkins	木 3	NUC

副題はシラバスの授業目的欄で確認してください。

シラバス情報/Syllabus Information	
■ 授業情報/Class Information	
授業コード/Class code	45111003 開講キャンパス/Campus
授業開講年度/Academic Year	
管理部/Department	言語教育研究センター/Language Center
【科目ナンバ】/Course Number	【300】Language and Communication 3/Language and Communication
授業名称/Class Title	
単位数/Credit	2 履修期/Term
担当者/Instructor	
履修基準年度/Standard Year for Registration	1年
授業目的/Course Purpose	Subtitle: Impact of Technology on Language In this Language and Communication 3 course, students will learn about a of modern factors enough to conduct surveys and give presentations.

NUC：西宮上ヶ原キャンパス KSC：神戸三田キャンパス

※開講クラス、担当者、曜日・時限は2022年2月現在のものです。
最新の情報は、必ず kwic で確認してください。

「英語コミュニケーション文化」副専攻（MS）プログラム

言語教育研究センターが開講している英語インテンシブ・プログラムを基礎とし、言葉によるコミュニケーションを支える「言語・心理的側面」と「社会・文化的側面」の二つの枠組みを中心とした専門科目を履修し、英語圏の文化と英語によるコミュニケーションを総合的に研究するものです。プログラムコア科目は全て、“英語を”ではなく、“英語で”学ぶ、ネイティブ教員によるオールイングリッシュの少人数制授業。学内で海外留学を体験できるようなプログラムとなっています。



プログラム履修のメリット

- 海外の大学さながらの環境で、オールイングリッシュの専門科目を受講できます。
- 将来留学を目指す学生や、帰国後更に英語力を伸ばしたい学生には最適のプログラムです。
- プログラムコア科目でクラス定員を超える申込者があった場合は、抽選の際にプログラム履修許可者が優先されます。
- プログラム修了者には、卒業時に、卒業証書の他に独自の修了証書が授与されます。

プログラム申込

※詳細は入学時に配布された「複数分野専攻制への扉」を確認してください。

対象

1、2年生（総合政策・理・工・生命環境・建築学部除く）

申込要件

	TOEFL ITP® TEST / TOEFL iBT® TEST	TOEIC® L&R TEST (IP テスト含む)	IELTS (Academic Module)	実用英語技能検定
スコア/級	500 点以上 / 61 点以上	600 点以上	5.0 以上	準 1 級以上

※受験年から2年以内のスコア。但し、TOEIC® L&R TEST、実用英語技能検定は有効期限なし。

説明会

プログラム開始時期	日程
2 年次秋学期	4 月 25 日 (月) 12:45 ~ 13:15 5 月 6 日 (金) 12:45 ~ 13:15
2 年次春学期 または 3 年次春学期	10 月 26 日 (水) 12:45 ~ 13:15 11 月 4 日 (金) 12:45 ~ 13:15

※場所は kwic で確認してください。

申込

提出書類

① 複数分野専攻願（教務機構事務部に配布）

② 申込要件を満たす点数表の原本とコピー（原本は確認後、その場で返却。）

※言語教育研究センターで L3 (Level3) 以上のレベル認定を受けている場合、点数表の提出は不要です。

※出願時点で申込要件を満たす点数表が提出できない場合は、所定の期日までにレベル認定を受けてください。

詳細は、kwic を確認してください。

提出先

教務機構事務部（G 号館 1 階）

プログラム開始時期	対象者		申込期間	許可者発表
	1 年生	2 年生		
2 年次秋学期	—	○	5 月 6 日 (金) ~ 13 日 (金)	7 月 20 日 (水) kwic にて発表
2 年次春学期 または 3 年次春学期	○	○	11 月 4 日 (金) ~ 11 日 (金)	2023 年 1 月 18 日 (水) kwic にて発表

FRANÇAIS・DEUTSCH

フランス語／ドイツ語インテンシブ・プログラム

集中的な外国語学習で

コミュニケーション能力を身に付けます。



プログラムの特徴

POINT 1

実践的・総合的な言語運用能力の育成

「文法・読解」を中心とした学習ではなく、「聞く・話す・読む・書く」という総合的なフランス語／ドイツ語の運用能力に重点を置きます。

POINT 2

具体的な到達目標

実用英語技能検定などと同様、社会的認知を受けている機関が判定する具体的な到達目標を設定し、以下の資格取得を目指したプログラムを提供します。

フランス語

公益財団法人フランス語教育振興協会 実用フランス語技能検定試験 2 級または
フランス国民教育省 フランス語資格試験 DELF B1

ドイツ語

ゲーテ・インスティトゥート ドイツ語検定試験 GOETHE-ZERTIFIKAT B1

フランス語／ドイツ語インテンシブ・プログラム カリキュラム

() 内は単位数

	コース名	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
		春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
必修科目	学部必修（選択必修） フランス語／ドイツ語レギュラー・コース	学部フランス語／ドイツ語科目（8）						詳細は p.21 の 学部開講フランス語／ドイツ語科目 履修体系	
	フランス語インテンシブ・コース 対象：文・社会・法・経済・商・国際学部生 詳細は p.19	学部フランス語 科目（2）	フランス語 インテンシブ 初級Ⅰ（3）	フランス語 インテンシブ 初級Ⅱ（3）					
	ドイツ語インテンシブ・コース 対象：神・文・社会・法・経済・商・国際学部生 詳細は p.20	学部ドイツ語 科目（2）	ドイツ語 インテンシブ 初級Ⅰ（3）	ドイツ語 インテンシブ 初級Ⅱ（3）					
選択科目	詳細は p.19,20 対象：全学部生	フランス語／ドイツ語インテンシブ 初級Ⅲ（2）／中級（2）							

重要

出席・遅刻の制度

- ・授業開始から 5 分以上遅れると「遅刻」となる。
- ・欠席は理由の如何に関わらず「欠席」として取り扱う。
- ・「不合格」となる欠席及び遅刻の回数は右表の通りとする。
- ・不合格となった場合、その後の授業に出席することはできない。

科目名	欠席	遅刻
インテンシブ初級Ⅰ／初級Ⅱ	6	10
インテンシブ初級Ⅲ／中級	4	8

フランス語／ドイツ語インテンシブ・コース（インテンシブ初級Ⅰ／初級Ⅱ）申込・選考スケジュール

説明会

インテンシブ・コースの概要や申込方法について説明します。

	フランス語	ドイツ語
日程	5月26日(木) 12:45～13:15 6月6日(月) 12:45～13:15	5月27日(金) 12:45～13:15 6月7日(火) 12:45～13:15

※説明会に参加できなくても、コースへの申し込みは可能です。

※場所は kwic で確認してください。

Web 申込&選考

フランス語

STEP 1

Web 申込：右記 QR コードからアクセスし、申込フォームに必要事項を入力の上送信してください。
kwic にも申請フォームを掲載しています。



STEP 2

選考申込用紙提出：選考申込用紙の提出をもって、書類選考を実施します。所定の選考申込用紙を kwic から印刷または事務室で受け取り、事務室へ提出してください。
申込&選考申込用紙提出期間：6月6日(月)～17日(金) **16:00**

ドイツ語

STEP 1

Web 申込：kwic 上の申込フォームに必要事項を入力し、送信してください。
申込期間：6月6日(月)～17日(金) **16:00**



STEP 2

選考試験実施日：6月25日(土)
※申込者数によって選考試験の実施を決定します。実施の有無は申込期間終了後にお知らせします。

※フランス語またはドイツ語インテンシブ・コースと1年次秋学期開始インテンシブ・イングリッシュ・コースの併願は可能。
ただし、両方のコースに合格した場合、どちらか一方を選択する。

選考結果発表

7月8日(金) 9:00 kwic にて発表

インテンシブ初級Ⅲ／中級 履修手続

kwic での履修科目の申込

下記期間に kwic で申し込みを行ってください。クラス定員を超える申込者があった場合は抽選を実施します。申込期間内であれば、kwic から取消・変更が可能です。なお、定員に満たないクラス等で追加申込を受け付ける場合があります。適宜 kwic を確認してください。

※当選科目の履修中止はできません。シラバス等で授業内容を十分確認の上、申し込んでください。

	春学期開講	秋学期開講
Web 申込期間	4月1日(金) 9:00～4日(月) 16:50	9月8日(木) 9:00～9日(金) 16:00
Web 申込結果発表	4月7日(木) 9:00	9月14日(水) 9:00
追加申込期間	4月7日(木) 9:00～11:30	9月14日(水) 9:00～11:30
追加申込結果発表	4月7日(木) 17:00	9月15日(木) 9:00

先修条件特例措置 ※先修条件を満たしていない場合

当該科目の先修科目修得と同等以上のレベルに達していると自己判断する場合は、申請フォーム（右記 QR コードからアクセス）より面接申込をしてください。kwic のキャビネット（言語教育研究センター）にも申請フォームを掲載しています。



面接によって認められた場合、履修資格を得ることができます。面接の詳細は申込期限の翌日にメールにて通知しますので、面接選考日の予定を空けておいてください。

	春学期開講	秋学期開講
申込期限	4月4日(月) 16:50	9月9日(金) 16:00
面接選考	4月6日(水)	9月13日(火)
履修許可発表	4月7日(木) 9:00 kwic にて発表	9月14日(水) 9:00 kwic にて発表

フランス語インテンシブ・プログラム

フランス語インテンシブ・コース

科目名	フランス語インテンシブ初級Ⅰ／フランス語インテンシブ初級Ⅱ 学部必修（選択必修）に代わる科目			
	1 年次秋学期より他学部仲間と共に、集中的なフランス語の授業を履修します。授業はネイティブ教員と日本人教員のチーム・ティーチングで行われ、1 年次秋学期に「初級Ⅰ」（週 3 回・3 単位）を、2 年次春学期に「初級Ⅱ」（週 3 回・3 単位）を履修します。			
対象	文・社会・法・経済・商・国際学部生	単位数	合計 6 単位	定員 約 20 名
履修条件	1 年次春学期に所属学部必修（選択必修）言語教育科目（フランス語）2 単位を修得、および言語教育研究センターが実施する選考に合格。 p.18 参照			
履修上の注意	・フランス語インテンシブ・コース履修者は、インテンシブ・イングリッシュ・コース／ドイツ語インテンシブ・コースを履修できない。 ・「初級Ⅰ」の単位を修得できなかった場合は、2 年次春学期より所属学部のレギュラー・コースに戻り、未修得の単位を修得する。 ・必修科目として「初級Ⅰ」を修得した場合は、引き続き必修科目として「初級Ⅱ」を履修しなければならない。 ・「初級Ⅱ」を履修したにも関わらず、単位を修得できなかった場合は、所属学部のレギュラー・コースに戻ることはできない。 ・文学部文学言語学科フランス文学フランス語学専修生は、この科目は自由履修科目となる。 ・国際学部生は「初級Ⅱ」は選択科目となるが、「初級Ⅰ」に引き続き履修しなければならない。			

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限
初級Ⅰ	秋	1	ベレック セドリック	月 2
			デルベス S.	水 3
			北村 直子	金 1
		2	ベレック セドリック	月 4
			デルベス S.	水 4
			北村 直子	金 2
		3	ケルネン フローラン	月 4
			ケルネン フローラン	水 4
			中田 浩司	金 3

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限
初級Ⅱ	春	1	ベレック セドリック	月 2
			デルベス S.	水 3
			北村 直子	金 1
		2	ベレック セドリック	月 4
			デルベス S.	水 4
			北村 直子	金 2
		3	ケルネン フローラン	月 4
			ケルネン フローラン	水 4
			中田 浩司	金 3

科目名	フランス語インテンシブ初級Ⅲ 申込科目 重複履修可			
	春学期は 3 年生以上を対象に、秋学期は 2 年生以上を対象に開講され、選択科目として授業が行われます。			
対象	全学部生	単位数	2 単位（週 2 回）	定員 約 20 名
履修条件	以下のいずれかに該当すること。 ①「フランス語インテンシブ初級Ⅰ・Ⅱ」を修得 ②必修（選択必修）言語教育科目（フランス語）8 単位を修得 ※文学部文学言語学科フランス文学フランス語学専修生、総合政策・建築・国際学部生はそれに相当する単位の修得をもって履修資格を満たすことが可能。具体的な科目名はこちらを確認 →  ③先修条件特例措置により履修資格を取得 p.18 参照			

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限
初級Ⅲ	春	1	ラマル J.	水 5
			シェラス C.	金 3

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限
初級Ⅲ	秋	2	ラマル J.	月 1
			ラマル J.	水 4
		3	ラマル J.	月 2
			ラマル J.	水 3

科目名	フランス語インテンシブ中級 申込科目 重複履修可			
	選択科目としてネイティブ教員によって授業が行われます。			
対象	全学部生	単位数	2 単位（週 2 回）	定員 約 20 名
履修条件	以下のいずれかに該当すること。 ①「フランス語インテンシブ初級Ⅲ」を修得 ②「フランス語中期留学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を修得 ③先修条件特例措置により履修資格を取得 p.18 参照			

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限
中級	春	1	ラマル J.	月 4
			ラマル J.	水 3

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限
中級	秋	2	ラマル J.	水 5
			シェラス C.	金 3

※開講キャンパスは全て西宮上ヶ原キャンパス ※開講クラス、担当者、曜日・時限は 2022 年 2 月現在のものです。最新の情報は、必ず kwic で確認してください。

ドイツ語インテンシブ・プログラム

ドイツ語インテンシブ・コース

科目名	ドイツ語インテンシブ初級Ⅰ／ドイツ語インテンシブ初級Ⅱ					学部必修（選択必修）に代わる科目
1 年次秋学期より他学部仲間と共に、集中的なドイツ語の授業を履修します。授業はネイティブ教員と日本人教員のチーム・ティーチングで行われ、1 年次秋学期に「初級Ⅰ」（週 3 回・3 単位）を、2 年次春学期に「初級Ⅱ」（週 3 回・3 単位）を履修します。						
対象	神・文・社会・法・経済・商・国際学部生	単位数	合計 6 単位	定員	約 20 名	
履修条件	1 年次春学期に所属学部必修（選択必修）言語教育科目（ドイツ語）2 単位を修得、および言語教育研究センターが実施する選考に合格。 p.18 参照					
履修上の注意	・ドイツ語インテンシブ・コース履修者は、インテンシブ・イングリッシュ・コース／フランス語インテンシブ・コースを履修できない。 ・「初級Ⅰ」の単位を修得できなかった場合は、2 年次春学期より所属学部のレギュラー・コースに戻り、未修得の単位を修得する。 ・必修科目として「初級Ⅰ」を修得した場合は、引き続き必修科目として「初級Ⅱ」を履修しなければならない。 ・「初級Ⅱ」を履修したにも関わらず、単位を修得できなかった場合は、所属学部のレギュラー・コースに戻ることはできない。 ・文学部文学言語学科ドイツ文学ドイツ語学専修生は、この科目は自由履修科目となる。 ・国際学部生は「初級Ⅱ」は選択科目となるが、「初級Ⅰ」に引き続き履修しなければならない。					

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限	科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限
初級Ⅰ	秋	1	ニシダ R.	月 2	初級Ⅱ	春	1	ニシダ R.	月 2
			西田 隆雄	水 3				西田 隆雄	水 3
			ヒンスケン トーマス	金 1				ヒンスケン トーマス	金 1
		2	ニシダ R.	月 4			2	ニシダ R.	月 4
			西田 隆雄	水 4				西田 隆雄	水 4
			ヒンスケン トーマス	金 2				ヒンスケン トーマス	金 2

科目名	ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ 申込科目 重複履修可 春学期は 3 年生以上を対象に、秋学期は 2 年生以上を対象に開講され、選択科目として授業が行われます。				
対象	全学部生	単位数	2 単位 (週 2 回)	定員	約 20 名
履修条件	以下のいずれかに該当すること。 ①「ドイツ語インテンシブ初級Ⅰ・Ⅱ」を修得 ②必修(選択必修) 言語教育科目(ドイツ語) 8 単位を修得 ※文学部文学言語学科ドイツ文学ドイツ語学専修生、総合政策・建築・国際学部生はそれに相当する単位の修得をもって履修資格を満たすことが可能。具体的な科目名はこちらを確認 ③先修条件特例措置により履修資格を取得 p.18 参照 				



科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限	科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限
初級Ⅲ	春	1	シュビンレル T.	水 4	初級Ⅲ	秋	2	シュビンレル T.	水 4
			阿部 卓也	金 2				阿部 卓也	金 2

科目名	ドイツ語インテンシブ中級					申込科目	重複履修可	選択科目としてネイティブ教員によって授業が行われます。	
対象	全学部生		単位数	2 単位（週 2 回）		定員	約 20 名		
履修条件	以下のいずれかに該当すること。 ①「ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ」を修得 ②先修条件特例措置により履修資格を取得 p.18 参照								

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限	科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限
中級	春	1	シュビンレル T.	水 3	中級	秋	2	シュビンレル T.	水 3
			ヒンスケン トーマス	金 3				ヒンスケン トーマス	金 3

※開講キャンパスは全て西宮上ヶ原キャンパス ※開講クラス、担当者、曜日・時限は 2022 年 2 月現在のものです。最新の情報は、必ず kwic で確認してください。

【参考】学部開講フランス語科目履修体系 2022 年度入学生のカリキュラムです。

() 内は単位数

	1 年次		2 年次	
	春	秋	春	秋
文	A I (1) B I (コミュニケーション) (1)	A II (1) B II (コミュニケーション) (1)	A III (1) B III (1)	A IV (1) B IV (1)
社会	I (2)	II (2)	III a (1) III b (1)	IV a (1) IV b (1)
法	A I (1) B I (1)	A II (1) B II (1)	A III (1) B III (1)	A IV (1) B IV (1)
経済	I (2)	II (2)	III (2)	IV (2)
商	I (読解) (1) I (表現) (1)	II (読解) (1) II (表現) (1)	III (読解) (1) III (表現) (1)	IV (読解) (1) IV (表現) (1)
理/工/生命環境	文法 I (1)、文法 II (1)、読解 I (1)、読解 II (1)			
総合政策/建築	I (2)	II (2)	III (2)	IV (2)
人間福祉	I (2)	II (2)	III (2)	IV (2)
国際	I (2)	II (2)	III (2)	IV (2)

【参考】学部開講ドイツ語科目履修体系 2022 年度入学生のカリキュラムです。

	1 年次		2 年次	
	春	秋	春	秋
神	入門甲 (1) 入門乙 (1)	初級甲 (1) 初級乙 (1)	中級 A 甲 (1) 中級 A 乙 (1)	中級 B 甲 (1) 中級 B 乙 (1)
文	A I (1) B I (コミュニケーション) (1)	A II (1) B II (コミュニケーション) (1)	A III (1) B III (1)	A IV (1) B IV (1)
社会	I (2)	II (2)	III (2)	IV (2)
法	A I (1) B I (1)	A II (1) B II (1)	A III (1) B III (1)	A IV (1) B IV (1)
経済	I (2)	II (2)	III (2)	IV (2)
商	I (2)	II (2)	III (2)	IV (2)
理/工/生命環境	文法 I (1)、文法 II (1)、読解 I (1)、読解 II (1)			
総合政策/建築	I (2)	II (2)	III (2)	IV (2)
人間福祉	I (2)	II (2)	III (2)	IV (2)
国際	I (2)	II (2)	III (2)	IV (2)

授業紹介 Q & A
フランス語インテンシブ・プログラム

【フランス語インテンシブ初級Ⅱ】を履修中の遠野さんに伺いました。

Q フランス語インテンシブを履修しようと思った理由は？

A フランス語の詩が好きなのですが、これは日本語に訳された詩が好きなのか、それとも詩の原典の言葉が好きなのかを確かめるためにフランス語を本格的に勉強したいと思い履修しました。

Q 授業はどのように進められますか？

A 主にデジタル教科書とその音声、プリントを使って進められます。フランス語の読み書きはもちろん、先生やクラスの学生とのフランス語での会話を積極的に行なって学びを深めています。授業は少人数制で、他学部の学生とも仲良くなれます。日本人の先生とネイティブの先生が担当しているので、分からないことがあれば直ぐに確認でき、不安なく授業に取り組んでいます。

Q フランス語の魅力や楽しさは？

A 英語の元になっている単語を知れたり、好きな詩を原典で読めたりすることが、魅力的だと思います。また、履修する前は全く理解ができなかったフランス語の会話を聞き取れるようになるのはとても嬉しく、楽しいです。フランス語を学ぶことで、英語やその他の言語の学習もスムーズになるので、元々苦手意識のあった英語も徐々に克服出来ていると感じています。

Q 学んだフランス語をどう活かしていきたいですか？

A 詩だけではなく、好きな本の原典をフランス語で読んで日本語訳と対比したり、自分で翻訳してみたりして、押韻や独特の言い回しを楽しみたいと考えています。フランス語検定や DELF/DALF などの検定にも積極的にチャレンジしたいです。また、読む・書くだけではなく、フランス語を話したり聞いたりすることを心がけていきたいと思っています。



社会学部 3 年
遠野 りこさん

ドイツ語インテンシブ・プログラム

【ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ】を履修中の吉村さんに伺いました。

Q ドイツ語インテンシブを履修しようと思った理由は？

A 私が所属しているドイツ文学ドイツ語学専修では、必修のドイツ語の授業が週 5 回あるのですが、もっとドイツ語が使えるになりたいと思ったので、実践的な授業のドイツ語インテンシブ初級Ⅲを秋学期に履修することに決めました。

Q 授業はどのように進められますか？

A 受講している「ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ」の授業は、週 2 コマあり、日本人の先生とネイティブの先生が教えてくださいます。1 つの授業では、カードを用いて、ドイツ語特有の複雑な名詞・冠詞や形容詞の格変化や接続詞を練習しています。もう 1 つの授業では、リスニングや会話練習をメインに行います。少人数制授業で、先生が一人ひとり丁寧に指導して下さり、苦手なところをしっかりと補強していただけるようになっています。

Q ドイツ語の魅力や楽しさは？

A ドイツ語は英語と同じゲルマン語系の言語なので、比較的習得しやすい言語だと思いますが、文法や語彙の知識があっても実際に話すとなると難しいです。なので、この授業を通してドイツ語のスピーキングスキルを伸ばしていきたいです。また、英語とドイツ語の共通点や相違点を見つけるのも面白いと感じています。

Q 学んだドイツ語をどう活かしていきたいですか？

A 現在、他のヨーロッパの言語に関心が広がり、フランス語とイタリア語の授業も少しですが履修しており、今後も大学で開講されているできるだけ多くの言語に在学中に触れてみたいと思っています。今後も語学を中心にしっかり頑張って、少しでも将来に活かせるようにしたいと思っています。

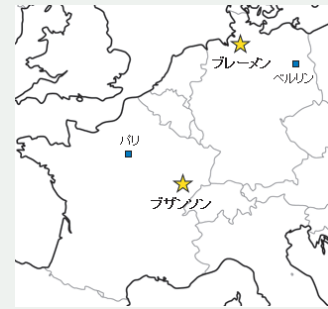


文学部 3 年
吉村 萌未さん

フランス語／ドイツ語海外研修

夏休みを利用し、本学と協定を締結している大学で約1ヶ月間フランス語／ドイツ語を学ぶプログラムです。

フランス・ドイツ共に、外国人のための外国語研修プログラムとして着実な実績をあげているプログラムに参加します。1ヶ月に約100時間の集中した授業により、言語運用能力の飛躍的な向上が図れるとともに、学生寮やホームステイでの生活体験を通し、実践的なコミュニケーション能力の向上や、異文化への深い理解が期待できます。



フランス語プログラム概要

参加資格	全学部生 ※言語教育科目のフランス語を履修していることが望ましい。
募集定員	25名
研修先	フランシュ・コンテ大学 応用言語センター (C.L.A.) ブルゴーニュ＝フランシュ＝コンテ地域圏 プザンソン市
実施期間	8月上旬～下旬
宿舍	現地大学が提供する寮<予定>
参加費用	約45万円



ドイツ語プログラム概要

参加資格	全学部生 ※言語教育科目のドイツ語を履修していることが望ましい。
募集定員	5～15名 ※参加者が5名に満たない場合は実施しない。
研修先	ブレーメン大学 ブレーメン州
実施期間	8月上旬～下旬
宿舍	現地大学が提供するホームステイ<予定>
参加費用	約43万円

2022年度海外研修の募集説明会・申込・選考については、kwicでお知らせします。

注意事項

- ・参加費用には渡航費・授業料・宿泊費・海外旅行保険が含まれます。別途、食事・交通費・滞在税の支払いが必要です。
- ・参加費用は為替レートの変動等やむを得ない事情により、追加徴収することがあります。
- ・国際情勢の変動などにより、本学の判断で中止またはスケジュールを変更する場合があります。
- ・参加者は出発までに数回行われるオリエンテーション・事前研修に必ず出席しなければなりません。
- ・研修先大学が発行する成績に基づき、帰国後に単位認定願を所属学部提出することで、単位認定（フランス語4単位／ドイツ語3単位）が可能です。



関西学院大学 HP に過年度参加者のレポートを掲載しています。

フランス語海外研修参加者の声

フランス語海外研修に参加して、学校の友だちや現地の人々とのコミュニケーションを通じて自発的に会話することが出来たのは、本当に良い経験になりました。学校には日本人以外にも世界各地から来た人たちがいて、非母語話者同士フランス語での意思疎通をはかろうと試みたり、時には学校のイベントでカラオケがあり母国の歌で盛り上がったたり、1カ月で得られるものは想像以上に多くとても充実していました。フランス人はもちろん、多くの国の知り合いが出来るため、フランス語を使ってコミュニケーションを今後も取る機会が得られました。海外研修プログラムを通して多様な経験が出来ます。ぜひ積極的に活用することをお勧めします！



ドイツ語海外研修参加者の声

海外研修に参加して、特にスピーキングとリスニングの力が上がったと感じています。ドイツ語を使うことでしか生活できないという環境に身を置くことの効果が強かったと思います。良くも悪くも語学力の向上には自分の努力にかかっています。したがって、事前の勉強は当然の事、留学中の予習復習や、授業においても積極的に覚えた語彙や文法を織り交ぜながら発言するなど、受動的にならない工夫をしないと、より良い留学になると思います。この留学でドイツの文化について深く知ることができました。ドイツに住む人々の性格やマナー、電車が時間通りに来ず乗り換えに失敗したりと、改めて知識ではなく体験という形でその文化のことを理解することができました。もし、ドイツやドイツ語に興味がある方はこのプログラムへの参加は素晴らしい経験となると思います。



選択言語

海外旅行をより楽しみたい、将来国際的な企業で仕事をしたい、特定の地域や文化・歴史に興味があるなど、言語を学ぶ理由や動機は人それぞれです。様々な言語を学ぶことで、自分とは異なる他人の立場になって考えたり、異なる見方で世界を見ることができるようになります。興味のある言語があれば、ぜひ選択言語科目を履修してください。

目指せマルチリンガル



履修手続

kwic での申込 ※「基礎フランス語 I」「フランス語アラカルト（聞く・話す）A」「日本手話初級 I」のみ

下記期間に kwic で申し込みを行ってください。クラス定員を超える申込者があった場合は抽選を実施します。
申込期間内であれば、kwic から取消・変更が可能です。
なお、定員に満たないクラス等で追加申込を受け付ける場合があります。適宜 kwic を確認してください。
※当選科目の履修中止はできません。シラバス等で授業内容を十分確認の上、申し込んでください。

	春学期開講	秋学期開講
Web 申込期間	4 月 1 日（金）9：00～4 日（月）16：50	9 月 8 日（木）9：00～9 日（金）16：00
Web 申込結果発表	4 月 7 日（木）9：00	9 月 14 日（水）9：00
追加申込期間	4 月 7 日（木）9：00～11：30	9 月 14 日（水）9：00～11：30
追加申込結果発表	4 月 7 日（木）17：00	9 月 15 日（木）9：00

履修登録

申込科目以外の選択言語を履修するには、下記の履修登録期間および修正期間に kwic で履修登録を行ってください。

	春学期開講	秋学期開講
履修登録期間	4 月 8 日（金）9：00～11 日（月）16：50	9 月 20 日（火）9：00～22 日（木）16：50
修正期間	4 月 15 日（金）9：00～18 日（月）16：50	9 月 29 日（木）9：00～10 月 3 日（月）11：30

先修条件特例措置

当該科目の先修科目修得と同等以上のレベルに達していると自己判断する場合は、下記の手続きを行ってください。

STEP 1

初回授業時

- ・選択言語科目履修許可願に必要事項を記入の上、担当教員に提出し、理由等を説明する。
 - ・担当教員が履修可否をその場で判定し、履修許可願に必要事項を記入し、学生に返却する。
- ※履修許可願は kwic のキャビネット（言語教育研究センター）からダウンロードしてください。

STEP 2

授業担当教員の署名がある履修許可願を下記期間までに、申請フォーム（右記 QR コードからアクセス）より提出してください。kwic のキャビネット（言語教育研究センター）にも申請フォームを掲載しています。

春学期開講	秋学期開講
4 月 15 日（金）11：30	9 月 27 日（火）11：30 ※

- ・「フランス語アラカルト（読む／書く）」「ドイツ語アラカルト（読む／書く）」「日本手話初級 II」はこの手続きの対象外です。
- ※秋学期金曜授業科目のみ、初回授業が 9 月 30 日（金）となるため、提出期限を 10 月 3 日（月）11：30 とします。



科目名	次ページ (p.25) 参照			
対象	全学部生	単位数	1 単位 (週 1 回)	定員
履修上の注意	以下の科目のみ定員があります。 基礎フランス語Ⅰ：各クラス 40 名 フランス語アラカルト (聞く・話す) A：各クラス 30 名 日本手話初級Ⅰ・Ⅱ：各クラス 16 名			

フランス語／ドイツ語

・「アラカルト」はシラバスに示された履修要件を参照の上、各自が自分のレベルを判断して科目を選択・履修する。この科目には先修条件はないが、履修にあたって学部必修 (選択必修) の言語教育科目のフランス語／ドイツ語 (インテンシブを含む) および言語教育研究センター開講選択言語科目の「基礎フランス語／ドイツ語」から 4 単位程度修得していることが望ましい。
 ・「アラカルト (読む) / (書く)」の履修基準年度は 2 年生以上とする。

中国語

・所属学部において選択必修科目もしくは選択科目として中国語を履修もしくは修得した学生は、「基礎中国語Ⅰ～Ⅳ」を履修できない。
 ・「中国語中級」の履修対象者は、学部選択必修科目 (総合政策・建築・国際学部生は選択科目含む) の中国語 8 単位修得者とする。
 ・「先修条件の特例措置」を利用して「中国語中級」を履修する場合、中国語検定試験 3 級合格または漢語水平考試 (HSK) 3 級合格を目安とする。

朝鮮語

・所属学部において選択必修科目もしくは選択科目として朝鮮語を履修もしくは修得した学生は、「朝鮮語初級Ⅰ」を履修できない。

スペイン語

・所属学部において選択必修科目もしくは選択科目としてスペイン語を履修もしくは修得した学生は、「スペイン語初級Ⅰ」を履修できない。

ロシア語／イタリア語／ポルトガル語／アラビア語／インドネシア語

・2016 年度以前に「初級Ⅲ」、「中級」を修得している場合も、「初中級」を履修することができる。

日本手話

・所属学部において選択必修科目もしくは選択科目として日本手話を履修もしくは修得した学生は、「日本手話初級Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。

【全言語共通】

注 意：初修者のための授業です。(当該言語の) 母語話者の履修はご遠慮ください。もし、(当該言語の) 母語話者が履修した場合には、初修者とは異なる課題を課す場合があります。

先修条件：履修にあたって特定科目の単位を修得していることが必要となる条件のこと。

先修条件修得と同等以上のレベルに達していると自己判断する場合は、先修条件特例措置の手続き (p.23 参照) を行い、担当教員の許可を得ること
 で、当該科目の履修が可能。

重複履修：一度単位を修得した後に同じ科目を再度履修すること。

科目名	左記科目の履修に必要な先修科目	重複履修の可否
基礎フランス語Ⅰ	—	×
基礎フランス語Ⅱ	基礎フランス語Ⅰ	×
基礎フランス語Ⅲ	基礎フランス語Ⅱ	×
基礎フランス語Ⅳ	基礎フランス語Ⅲ	×
フランス語アラカルト	—	○
基礎ドイツ語Ⅰ	—	×
基礎ドイツ語Ⅱ	基礎ドイツ語Ⅰ	×
基礎ドイツ語Ⅲ	基礎ドイツ語Ⅱ	×
基礎ドイツ語Ⅳ	基礎ドイツ語Ⅲ	×
ドイツ語アラカルト	—	○
基礎中国語Ⅰ	—	×
基礎中国語Ⅱ	基礎中国語Ⅰ	×
基礎中国語Ⅲ	基礎中国語Ⅱ	×
基礎中国語Ⅳ	基礎中国語Ⅲ	×
中国語中級	学部選択必修科目 (総合政策・建築・国際学部は選択科目含む) の中国語 8 単位修得	○
朝鮮語初級Ⅰ	—	×
朝鮮語初級Ⅱ	朝鮮語初級Ⅰ	×
朝鮮語初級Ⅲ	朝鮮語初級Ⅱ	○
朝鮮語中級	朝鮮語初級Ⅲまたは学部選択必修科目 (国際学部は選択科目含む) の朝鮮語 8 単位修得	○

科目名	左記科目の履修に必要な先修科目	重複履修の可否
スペイン語初級Ⅰ	—	×
スペイン語初級Ⅱ	スペイン語初級Ⅰ	×
スペイン語初級Ⅲ	スペイン語初級Ⅱ	○
スペイン語中級	スペイン語初級Ⅲまたは学部選択必修科目 (総合政策・建築・国際学部は選択科目含む) のスペイン語 8 単位修得	○
ロシア語初級Ⅰ	—	×
ロシア語初級Ⅱ	ロシア語初級Ⅰ	×
ロシア語初中級	ロシア語初級Ⅱ	○
イタリア語初級Ⅰ	—	×
イタリア語初級Ⅱ	イタリア語初級Ⅰ	×
イタリア語初中級	イタリア語初級Ⅱ	○
ポルトガル語初級Ⅰ	—	×
ポルトガル語初級Ⅱ	ポルトガル語初級Ⅰ	×
ポルトガル語初中級	ポルトガル語初級Ⅱ	○
アラビア語初級Ⅰ	—	×
アラビア語初級Ⅱ	アラビア語初級Ⅰ	×
アラビア語初中級	アラビア語初級Ⅱ	○
インドネシア語初級Ⅰ	—	×
インドネシア語初級Ⅱ	インドネシア語初級Ⅰ	×
インドネシア語初中級	インドネシア語初級Ⅱ	○
日本手話初級Ⅰ	—	×
日本手話初級Ⅱ	日本手話初級Ⅰ	×

科目名

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限
基礎フランス語Ⅰ 申込科目	春	1	ケルネン フローラン	水 2
		2	ラマル J.	月 3
基礎フランス語Ⅱ	秋	1	ケルネン フローラン	水 2
基礎フランス語Ⅲ	春	1	ケルネン フローラン	水 3
基礎フランス語Ⅳ	秋	1	ケルネン フローラン	水 3
フランス語アラカルト (聞く・話す) A 申込科目	春	1	ケルネン フローラン	月 3
		2	ラマル J.	水 4
フランス語アラカルト (聞く・話す) B	秋	3	ケルネン フローラン	月 3
フランス語アラカルト (聞く・話す) C	春	1	シェラス C.	金 4
		2	シェラス C.	金 4
フランス語アラカルト (読む)	春	1	シェラス C.	金 5
		2	シェラス C.	金 5
フランス語アラカルト (書く)	春	1	松原 冬二	火 4
		2	松原 冬二	火 4
基礎ドイツ語Ⅰ	春	1	ベレック セドリック	火 1
基礎ドイツ語Ⅱ	秋	2	ベレック セドリック	火 1
基礎ドイツ語Ⅲ	春	1	西田 隆雄	火 3
基礎ドイツ語Ⅳ	秋	1	西田 隆雄	火 3
ドイツ語アラカルト (聞く・話す) A	春	1	西田 隆雄	火 4
ドイツ語アラカルト (聞く・話す) B	秋	1	西田 隆雄	火 4
ドイツ語アラカルト (読む)	春	1	シュビンレル T.	水 5
ドイツ語アラカルト (書く)	秋	2	シュビンレル T.	水 5
基礎中国語Ⅰ	春	1	ヘーン M.	月 3
基礎中国語Ⅱ	秋	2	ヘーン M.	月 3
基礎中国語Ⅲ	春	1	リーダーバッハ H.	水 1
基礎中国語Ⅳ	秋	2	中川 慎二	金 5
中国語中級	春	1	ヘーン M.	金 3
		2	ヘーン M.	金 3
朝鮮語初級Ⅰ	春	1	未定	火 4
		2	閻 瑜	月 4
朝鮮語初級Ⅱ	秋	1	未定	火 4
		2	閻 瑜	月 4
	春	1	楊 靈琳	火 2
		2	楊 靈琳	火 2
	秋	1	趙 怡	月 4
		2	張 素絹	木 4
	春	3	趙 怡	月 4
		4	張 素絹	木 4
	秋	1	河村 光雅	火 2
		2	川本 理絵	月 4
	春	3	川本 理絵	月 4
		4	森 貴実代	月 2
	秋	1	河村 光雅	火 2
		2	川本 理絵	月 4
		3	川本 理絵	火 4

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限
朝鮮語初級Ⅲ	春	1	河村 光雅	火 3
		2	平井 清実	金 1
朝鮮語中級	秋	1	河村 光雅	火 3
		2	平井 清実	金 1
スペイン語初級Ⅰ	春	1	アギラル ミルトン	火 2
		2	ムニョス M. J.	火 3
スペイン語初級Ⅱ	秋	1	アギラル ミルトン	火 2
スペイン語初級Ⅲ	春	1	ムニョス M. J.	火 4
		2	岡 あゆみ	水 4
スペイン語中級	秋	2	ムニョス M. J.	火 3
		3	ムニョス M. J.	火 4
ロシア語初級Ⅰ	春	1	バクン エレナ	木 2
ロシア語初級Ⅱ	秋	1	バクン エレナ	木 2
ロシア語初中級	春	1	バクン エレナ	木 3
		2	バクン エレナ	木 3
イタリア語初級Ⅰ	春	1	落合 理恵子	火 3
		2	渋谷 陽子	木 4
		3	菅野 類	月 4
		4	菅野 類	月 5
	秋	5	渋谷 陽子	木 5
		6	菅野 類	月 4
イタリア語初級Ⅱ	春	1	渋谷 陽子	木 5
		2	落合 理恵子	火 3
	秋	3	渋谷 陽子	木 4
		4	菅野 類	月 5
イタリア語初中級	春	1	落合 理恵子	火 4
		2	落合 理恵子	火 4
ポルトガル語初級Ⅰ	春	1	村松 英理子	火 2
ポルトガル語初級Ⅱ	秋	1	村松 英理子	火 2
ポルトガル語初中級	春	1	村松 英理子	火 3
		2	村松 英理子	火 3
アラビア語初級Ⅰ	春	1	村田 靖子	火 4
		2	村田 靖子	火 5
アラビア語初級Ⅱ	春	1	村田 靖子	火 3
		2	村田 靖子	火 4
アラビア語初中級	秋	1	村田 靖子	火 3
インドネシア語初級Ⅰ	春	1	富永 泰代	水 2
		2	富永 泰代	水 4
インドネシア語初級Ⅱ	秋	1	富永 泰代	水 2
		2	富永 泰代	水 4
インドネシア語初中級	春	1	富永 泰代	水 3
		2	富永 泰代	水 3
日本手話初級Ⅰ 申込科目	春	1	馬場 博史	木 2
日本手話初級Ⅱ	秋	1	前川 和美	木 2

※開講キャンパスは全て西宮上ヶ原キャンパス

※開講クラス、担当者、曜日・時限は2022年2月現在のものです。
最新の情報は、必ずkwicで確認してください。

授業紹介 Q & A

選択言語

【イタリア語初級Ⅱ】を履修中の前畑さんに伺いました。

Q 選択言語イタリア語を履修しようと思った理由は？

A 高校の選択授業でイタリア人の先生に出会い、イタリア語に興味を持ち始めました。イタリアには陽気でフレンドリーな人が多く、話しているだけで元気をもらえます。彼らとずっとコミュニケーションを取りたいと思い、高校に引き続き、大学でも学ぶことにしました。

Q 授業はどのように進められますか？

A 文法学習やリスニングと合わせて会話の練習もします。また、先生が毎回イタリアの歴史や文化を紹介してください。最近ではシチリ



社会学部 2 年
前畑 優月さん

アにある遺跡について学びました。文法を学ぶだけでなく、イタリアという国について知ることができるのがこの授業の魅力だと感じます。

Q イタリア語の魅力や楽しさは？

A リズムや音の響きをとても大切にする言語なので、言葉が音楽のように聞こえるところが魅力です。また、イタリアンレストランのメニューや看板に書いてあることが理解できるようになるため、外出が楽しくなりました。そして、イタリアはキリスト教の影響を強く受けている国です。必修科目のキリスト教で学んだ知識がイタリア語の理解に役立つので、キリスト教主義の学校でイタリア語を学べることは関学生の特権だと思います。

Q 学んだイタリア語をどう活かしていきたいですか？

A イタリア語を履修し、イタリアの文化、歴史、表現をたくさん学べました。この経験をもとに、在学中にイタリア語検定 3 級を取ること目標にしています。また、実際にイタリアを訪れて現地の人とコミュニケーションを取ってみたいです。

履修者の声

Students VOICE

言語教育研究センター開講科目を履修した学生の声を動画にしました。

授業ではどんな力が身に付くの？授業の雰囲気は？等々、
言語教育研究センター開講科目の魅力をお話してくれました。

動画は右記QRコードからご覧ください。



英語インテンシブ・プログラム



選択言語



フランス語／ドイツ語 インテンシブ・プログラム



英語 e-learning 教材の 利用希望者を募集します！

ALC NetAcademy NEXT
TOEIC® L&Rテスト突破コース
(500点・600点・730点)



学習時間 約 40 時間／約 5 か月半

利用料無料 (申込要)

インターネット環境があれば、
いつでもどこでも利用可能

教材の
特徴

～ TOEIC® L&R テストのスコアアップを目指します！～

- ①簡易版問題を解きながら、「テスト攻略のポイント」を知識として学べる。
- ②繰り返し演習問題に取り組むことで「実践力」を養うことができる。
- ③本番同様の「模擬試験」を収録。受験後は予想スコア、弱点診断が表示される。

春 学 期

申込期間：2022 年 3 月 21 日 (月) ～ 4 月 17 日 (日)
利用期間：2022 年 4 月 21 日 (木) ～ 9 月 30 日 (金)

秋 学 期

申込期間：2022 年 9 月 5 日 (月) ～ 9 月 30 日 (金)
利用期間：2022 年 10 月 6 日 (木) ～ 2023 年 3 月 31 日 (金)



申込方法・詳細は QR コードから CHECK！ ▲



言語教育研究センター視聴覚室

視聴覚室では、CD、カセットテープ、DVD、BD（ブルーレイディスク）、ビデオなどの外国語視聴覚資料の利用や貸出のサービスを提供しています。外国語の学習効果をより一層高めたい人はもちろん、留学準備に各検定試験の勉強をしている人は、一度視聴覚室をのぞいてみてください。資料を有効に利用することにより外国語との新しい出会いがあるかもしれません。なお、資料は関西学院大学図書館OPACにて検索可能です。

場 所

西宮上ヶ原キャンパス G号館 1階（国際教育・協力センター向かい）

利用時間

	室内利用	カウンターサービス
平 日	8:50 ~ 16:50	8:50 ~ 11:30 12:30 ~ 16:50

※開室状況については、別途、kwicで確認してください。

利用案内

検定関係資料・月刊継続資料の全て、その他学習用資料のほとんどを自由に閲覧することができます。室内の機器を使用して試聴してから借りることも可能です。視聴したい資料のタイトルが分かる場合は視聴覚室内にあるOPAC検索サイトで検索後、カウンタースタッフに申し出てください。また学習目的であれば、資料を持参し、機器のみ利用することもできます。

※利用には学生証が必要です。

貸出について

貸出できる資料	CD・CD-ROM・カセットテープ・テキスト
貸出期間	2週間（延長可能）
貸出資料数	3タイトルまで

各言語別（英語、フランス語、ドイツ語、中国語、朝鮮語、スペイン語など）に入門から留学準備レベルまでの資料、検定対策資料、また月刊雑誌等を多数揃えています。

室内利用について

利用できる資料	CD・CD-ROM（MP3）・カセットテープ・テキスト・DVD・BD・ビデオ
利用できる機器	CD・MD・カセットデッキ／DVDプレイヤー／BDプレイヤー／VHSビデオデッキ

※ビデオ・DVD・BDの室外持出しはできません。

Q&A

Q カウンターサービス時間外（11:30 ~ 12:30）の間もDVDの視聴など、機器の利用はできますか？

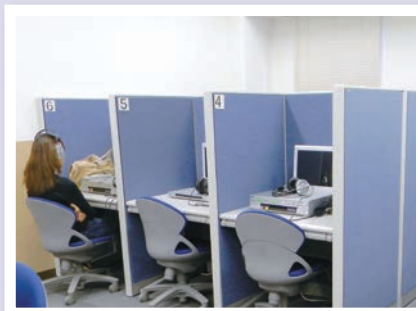
A 11:30までに手続きをすれば、その時間も利用することができます。

Q 長期の休み中も、貸出期間は通常の2週間ですか？

A 長期休暇中に関しては、特別長期貸出期間をその都度設定しています。

Q 神戸三田・西宮聖和キャンパスの図書館で資料の取り寄せ・返却はできますか？

A いいえ、貸出・返却ともに西宮上ヶ原キャンパス視聴覚室で行う必要があります。神戸三田キャンパス図書メディア館、西宮聖和キャンパス図書館にも検定関係資料を配架していますので、必要に応じて、これら図書館施設を利用してください。



学内実施の英語運用能力試験

英語インテンシブ・プログラム、「英語コミュニケーション文化」副専攻プログラム、および海外留学プログラムなどの申し込みを考えている学生は、所定の英語運用能力試験を受験する必要があります。

ここに掲載されている試験のスコアは、自動的にレベル認定されるため、点数表の提出は不要です。レベル認定の詳細は p11 を確認してください。また、受験後自動的にポートフォリオ (p.29) ヘスコアが反映されます。

※新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止や日程・実施形態の変更等が生じる可能性があります。
最新情報はこちらをご確認ください。



TOEIC® L&R IP テスト



全学 TOEIC® ※受験必須

無料実施 主催：関西学院大学

試験日	実施キャンパス	対象者	受験料	申込期間	申込方法	結果返却予定日	詳細確認方法
5月28日(土)	NUC	神・文・社会・法・経済・商・人間福祉・教育・国際・理・工・生命環境・建築学部 1年生および国際学部3年生	—	申込不要		6月中旬	kwic お知らせ
12月3日(土)	NUC	神・文・社会・法・経済・商・人間福祉・教育・理・工・生命環境・建築学部 2年生				12月下旬	

有料実施 主催：教務機構エクステンションプログラム

試験日	実施キャンパス	対象者	受験料	申込期間	申込方法	結果返却予定日	詳細確認方法
7月2日(土)	NUC	全学部・研究科在学生	4,500円(税込)	3月1日(火)～6月24日(金)	証明書発行機で証紙を購入し、必要事項を記入の上、教務機構事務室に提出。	7月中旬	エクステンションプログラムパンフレット
12月17日(土)	NUC			7月1日(金)～12月9日(金)		12月下旬	

TOEFL ITP® テスト

有料実施 主催：関西学院大学

試験日	実施キャンパス	対象者	受験料	申込期間	申込方法	結果返却予定日	詳細確認方法
4月16日(土)	NUC	全学部・研究科在学生	4,450円(税込)	2月28日(月)～4月8日(金)	関西学院大学 生活協同組合 KG フォーラム店 サービスカウンターまたは三田 Toy Box に設置されている申込書に記入し、受験料と共に提出。	5月12日(木)	関西学院大学 生活協同組合 KG フォーラム店 サービスカウンターまたは 三田 Toy Box
6月4日(土)				5月10日(火)～5月27日(金)		6月24日(金)	
6月25日(土)				5月30日(月)～6月17日(金)		7月15日(金)	
9月3日(土)				7月19日(火)～8月26日(金)		9月26日(月)	
9月17日(土)				8月29日(月)～9月9日(金)		10月12日(水)	
11月26日(土)				10月10日(月)～11月18日(金)		12月16日(金)	
2023年3月22日(水)				2023年1月12日(木)～3月15日(水)		2023年4月13日(木)	



無料実施 主催：関西学院大学

試験日	実施キャンパス	対象者	受験料	申込期間	申込方法	結果返却予定日	詳細確認方法
6月4日(土)	NUC	学部正規学生 350名(抽選)	—	4月11日(月)～5月1日(日)	kwicの言語教育研究センターキャビネットに掲載のWeb申込フォームから申し込み。	6月24日(金)	kwicの言語教育研究センターキャビネット
6月25日(土)		学部正規学生 350名(抽選)				7月15日(金)	
9月17日(土)		学部正規学生 300名(抽選)		8月1日(月)～8月21日(日)		10月12日(水)	

※2021年度までに実施された無料 TOEFL ITP® テストを無断欠席された方は申し込みできません。

総合政策学部 TOEFL® 無料実施 主催：総合政策学部

試験日	実施キャンパス	対象者	受験料	申込期間	申込方法	結果返却予定日	詳細確認方法
3月16日(水)～12月3日(土) or 10日(土) 予定	KSC	総合政策学部新入生	—	申込不要	総合政策学部事務室で申込	—	総合政策学部
2023年1月末 予定		EC2・EC4・EC6の履修者		申込不要		2023年1月授業内	
		12月3日(土) or 10日(土)の追試希望者				2月中旬	

※総合政策学部生以外は受験できません。

NUC：西宮上ヶ原キャンパス、KSC：神戸三田キャンパス、OUC：大阪梅田キャンパス

K.G.ポートフォリオ

関西学院大学では、大学生活における経験を蓄積して役立てられるポートフォリオの活用を推進しています。

大学では、授業を通じた専門知識の修得、語学力の向上や留学、クラブ活動・アルバイト・ボランティア・インターンシップといった課外活動など、様々な経験を積み重ねることができます。これらの経験は、日々の学びの向上だけではなく、就職や大学院進学などのキャリアを考える時に貴重な財産となります。

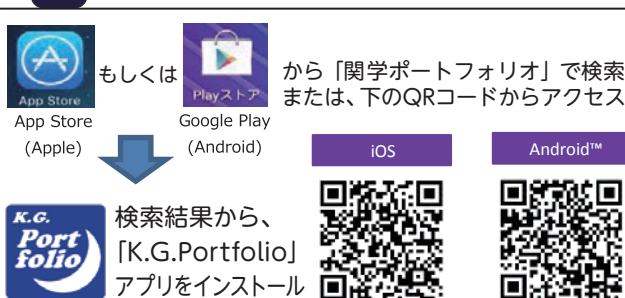
ポートフォリオを使ってこまめに学生生活の振り返りを行うことで、以前よりもレベルアップしている自分に気づき、なりたい自分に近づいていることを実感できるはずです。自分の強みを見つけた時や将来の進路に迷った時、ポートフォリオは強力なサポートツールになります。皆さんのよりよい未来のために、是非、ポートフォリオを役立ててください。

PCからのアクセス方法



kwicトップ画面左下の「LUNA」よりアクセス

ダウンロード方法



※「Android」[Google Play]は、Google Inc.の商標または登録商標です。
 ※「Apple」は、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
 ※「App Store」はApple Inc.のサービスマークです。
 ※「iOS」は、米国Ciscoのライセンスに基づき使用されています。
 ※QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。

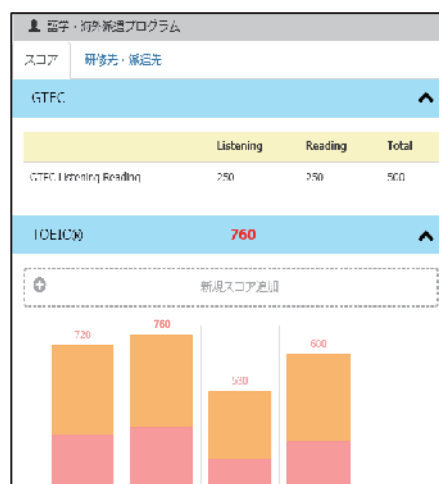
語学学習や海外研修の記録を通じて外国語能力を伸ばし、自分の世界を広げよう 言語教育研究センターでの活用事例

入学時に受験するGTEC、入学後に受験するTOEIC® L&R IPテスト、TOEFL ITP® TESTのスコアを時系列に表示します。学外で公式テストを受験した場合も、自分でポートフォリオにスコアを入力でき、学習の進捗状況が一目でわかります。

海外研修参加後のアンケートをポートフォリオ上で回答し、研修時の気づきや経験を蓄積することができます。



アンケートに回答し、自分の感じたことを記録する



本システムは、スマートフォンの利用を推奨するものですが、学内外のPCでも多くの機能は利用することができます。

推奨環境等はLUNA活用ハンドブックをご参照ください。

掲載している機能やデータ連携は2022年4月現在のものです。

機能やデータ連携を予告なく追加・停止する可能性があります。

みなさんの取り組みを支援するため、権限が与えられた教職員が厳格な管理の下、メニューの各機能の情報を参照することがあります。

アプリの利用料は無料ですが、ダウンロードや利用時にかかるパケット通信料は利用者負担になります。

創立以来、「世界市民」の育成をめざして国際教育を積極的に推進してきた関西学院大学。

その豊富な実績と構想が認められ、平成26年度文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択されました。

これを機に、多様性を学ぶ「国際性豊かな学術交流の港」を構築し「ダブルチャレンジ制度」を創設するなど、

国や地域の垣根にとらわれず世界を駆け巡り、競い合い、支え合って協働できる「世界市民」を育てます。

挑め、新たな世界に！ 全学生が挑む「ダブルチャレンジ」

全学生が所属学部の主専攻の学び（ホームチャレンジ）に加え、異なるものとの出会いの場「アウェイチャレンジ」に取り組み、グローバル人材に強く求められる「主体性」「タフネス」「多様性への理解」を深めます。アウェイチャレンジは以下の3つのプログラムから構成されています。是非、在学中の4年間を通じて多様な『チャレンジ』に取り組み、自らの可能性を拓いてください。

アウェイチャレンジ

国際ナショナルプログラム

「国を越え、世界を知る」

海外の大学・フィールドでの挑戦や海外からの学生との共修を通して、グローバルな視野を身につけます。

例：交換留学、中期留学、外国語研修、インドネシア交流セミナー、国連セミナー、海外インターンシップ、海外フィールドワーク など



ホームチャレンジ



（各学部・専攻での学び）

アウェイチャレンジ

副専攻プログラム

「学部を出て、他分野を学ぶ」



主専攻とは異なる学問分野を体系的に学び、複眼的な視野を身につけます。

例：複数分野専攻制プログラム、
複数分野専攻制特別プログラム＜国連・外交プログラム＞

アウェイチャレンジ

ハンズオン・ラーニング・プログラム

「キャンパスを出て、社会に学ぶ」



地域や企業、行政と連携した実践的なプログラムで思考力・行動力・学修姿勢を身につけます。

例：ハンズオン・アドバンスト、
ハンズオン・インターンシップ、
ハンズオン・プラクティス、
社会探究実習、社会探究演習など

詳しくは『「ダブルチャレンジ」プログラムガイド2022』で確認してください。

新入生（1年生）には入学式で、2年生以上の学生には教務機構事務部や各学部・センター事務室で配布しています。

KSC：神戸三田キャンパス



NUC：西宮上ヶ原キャンパス



関西学院大学 教務機構 言語教育研究センター

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155

TEL：0798-54-6180 FAX：0798-54-6190

ホームページ：https://www.kwansei.ac.jp/education/language/center

